□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

仕事	の振り)返りシ	ノート(令和5年度実	施分)			1	作成・更新日	令和6	年8月5日
事業名	事業所領	£新型□□·	ナウイルス感染症緊急景気対策事業	実施計画事業or一般事業	— <u>;</u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
于本山	F ************************************	7 WI - L - L - L	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	施策横断的な取組との関連性				該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本作	青報			SOFTIME SO MILE TO SELECT						
	部	産業文化ス		予算中事業名		会計		事業計画		度のみ
担当組織		産業政策課		事業所等新型コロナウイルス		款		新規or継続		事業
	係 体系コード	産業政策係	· 名称	感染症緊急景気対策事業 根拠法令、条例等	科目	項 目	1	市単独or国県補助 義務or任意		助事業 内事業
	基本目標		無力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		車業	開始年度		実施方法		ウェスト 営
政策体系	政策		企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり	佐野市中小企業及び小規模		終了年度		事業分類		<u> </u>
	施策		活力ある商業・鉱工業の振興	企業振興条例施行規則 外	743123	心了十尺	_	于未力权	X JX	· +*
2. 事業 机 (1)事業 事業概要	美概要 新型コロナ		・画期間内)目標値 症の影響を受けている市内事業者の支援のため、 る。	佐野市緊急景気対策資金(市	· 	虫資)と新な	型コロナウイルス	感染症に係る	事業資金	借入金返
(2)目的	L 匀			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的 (本事業に		. ^ *** - * - **-		各種補助制度の補助件数	件	37	25	29	33	37
よって成し	市内の中小 けられる。	い企業者が新	型コロナウイルス感染症対策の必要な支援を受							
遂げたい	りりれる。									
状態)										
3. 前年 原 (1)活動		活動及び費用	月対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ					1	
	○緊急景気	対策事業		活動指標 新型コロナウイルス感染症に係る事業資	単位	R3	R4	R5		
	融資預託	- 3日末融資源	浅高 2,789,126千円	新型JUアワイル人感染症に係る事業質 金借入金返済利子補助金交付件数	件	883	1,007	968		
活動実績	・令和5年度新規貸付 5件 14,000千円 ・各金融機関に四半期ごとの融資実績に応じて預託を行う。 貸付金(預託金) 929,670千円 信用保証料補給 ・制度融資利用にかかる信用保証料を全額補助した。									
(R 5 年度に 行った主な活 動内容)				事業費計	千円	0	1,752,609	957,960		
劉内合)		秋 5件 193,		一般財源	千円		965	1,326		
		利子補助金		特定財源(国・県・他)	千円		1,751,644	956,634		
			触資を利用した市内中小企業者に借入 。 968件 26,768,884円	(うち受益者負担)	千円		0	0		
(3)活動	かによる効果	<u> </u>		(4) 事業効果を説明する数	が値デー	タの推移		•	・ ↓選択し ⁻	て下さい
(3) /山±	3/1CQ 9/1/A			効果指標	単位	R3	R4	R5		R4とR5の比較
÷+ == + ==	新型コロナ	ウイルス感染症	定は終息しつつあるが、その後の影響を受けた事	各種補助制度の補助件数	件	20	11	13	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明 (定量及び			を行うことができた。							
定性)			復したため当該事業の制度融資を利用する事							
	業者が少な	いつに。								
(-)		— (+ -:				l	l	I	I.	
	月対効果結果 とR4の一般	果(自動判定	E) 費用が増加した	V 1 O TENN LOHBER FOUND				効果		1
		がいる。 でのた指標数	1指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった		効果が下がった	
効果 (R5とR4の	効果は変わ	らない指標数	0指標		費	費用は下がった	7/3714/0 == 70 = 7.5			
指標值増減)	効果かトカ	らた指標数 指標全体	<u>0指標</u> 効果が上がった		用	費用の増減無し	\cap			
4. 次年月	度に向けた杉		795818 128 570	•						1
(1) 令和	05年度の	事業実施にお	ける反省点、環境変化や関係者からの意見等を		見向上の	ための課題	Į			
	こ伴い、令和		つあるが、その後の影響を受けた事業所に対し必 て緊急景気対策資金を廃止した。また、新型コロ		金借入	金返済利	子補助金に関し	,ては、来年度	以降も継続	売して補助
(2)上記	己反省点及河	び課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組							
				取組説明						
	事業の在り	方検討(廃止	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)							

作成•更新日 2024年6月28日

			+ Main (mm + 11)		1			<u> </u>		
事業名	新しい働	き方環境	整備促進事業	実施計画事業or一般事業						
. ===	⊧ ±0			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり
		産業ウルフ	ポーツ立R	予 質由車業夕		스타	— 60	車業計画	畄午 「	きのみ
					子質					
				2	11111	i i	2	義務or任意		
		1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業	開始年度	R2	実施方法		
以策体 糸	政策							事業分類	支援	事業
		1	活力ある商業・鉱工業の振興	· 地促進奖励金父何安納寺						
		ひ(基本計	画期間内)目標値							
『業概要	開設、運営	する事業者を	₹支援する。	の活性化と本市への移住・定住	者の増	加を図るため	め、サテライ	トオフィスや:	コワーキング	スペースを
(2)目的	1			(3)						
/ Ш	-				単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				サテライトオフィス等の運営件数(延べ)		7	9	9		
(本事業に	サテライトオ	フィス等立地の	促進及びリモートワーク等の新しい働き方を							
よって成し	推進する。									
	基本体験 振楽技術等 振楽技術等のは現在の開選性 5DS 新温かり 20091697 振温かり 20091697 エタリン・アライトオンスクランを表音を支援する。 20091697 エタリン・アライトオンスクランを表音を支援する。 20091697 エタリン・アライトオンスクランを表音を変換する 20091697 エタリン・アライトオンスクランを表音を表まままままままままままままままままままままままままままままままままま									
		古動及び賀井	1对効果)説明	(つ) 注動も説明せて粉坊ご	` <i>h</i> TL7i	*声光帯のも	#1 / 2			
(1) 活里	小夫領								I	
				上	単位	R3	R4	R5		
				補助金交付件数	件	11	11	7		
	到 人惊									
舌動実績										
R5年度に										
			及ひ市ホームページ、セミナーを通して制度	事業費計	千円	9,060	2,668	1,055		
到(2)台)	周知を行つ	Ic.		一般財源	千円	1,653	600	1,055		
				特定財源(国•但•他)	千田	7 407	2 068			
						7,107	2,000			
				(75党益有負担)	十円					
(3)活重	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	な値データ	の推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
h				サテライトオフィス等の運営件数(延べ)	件	7	9	9	値が大きいほど良い	効果は変わらない
	サテライトオ	フィフ笙の運気	が作物(延べ)は構造したある							
(,,,	ואוויל לפ	ノ1人守の住る	ら一方文(足べ)は使はくにめる。							
X-11-)										
(5)費用	対効果結果	果(自動判定	E)							
				※10万円以上の増減により判断				効果		
効果			0指標			I	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の			1指標 							
旨標値増減)	WJ ~ 1 /J				用			0		
(1) 令和	35年度の	事業実施にお 症の5類移行	テ後、日常生活が戻ったことで本補助制度 <i>の</i>				課題			
				取組説明						
	事業効果を 事業費の見 業務時間效	と上げるための 見直し検討 効率化のための	事務改善の検討							

仕事の振り返りシート(令和5年度実施分)

作成・更新日 令和6年8月5日

事業名中小企業融資預託事業実施計画事業 or一般事業実施計画事業 が長公約該当なし 総合戦略 該当あり施策横断的な取組との関連性 SDGs該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし

1. 基本情報

		部	産業文化スポーツ部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	担当組織	課	産業政策課		中小企業融資預託事業	予算	款	7	新規or継続	継続事業
		係	産業政策係		中小正未附貝頂託事未	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
		体系コード	111	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業
		基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	 佐野市中小企業及び小規模		開始年度	昭和52年度	実施方法	直営
以水冲木	政策	1	小坐手がた原準」 卒業に倒ってましてい		期間	終了年度	-	事業分類	融資・貸与事業	
		施策 1 活力ある商業・鉱工業の振興		正来派突不[5]][6][5][7][7]					·	

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

・市内金融機関へ融資実績に応じた資金を預け入れる契約により、通常より低利で中小企業者への融資を行う。

事業概要

・7種類の制度融資実績(残債)の1/3に相当する資金を決済用預金として4、7、10、1月に金融機関に預け入れし、年度末に市の一般会計に戻入してもらう。

制度融資の種類は、中小企業経営安定資金、中小企業短期資金、中小企業設備資金、中小企業創業資金、小規模企業者資金、産業振興支援資金。

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		融資実行を受けた中小企業者数(本事業)	件		480	460	440	420
(本事業に								
よって成し 遂げたい								
状態)								
0000								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
		金融機関への預託回数		2	1	4
活動実績 (R5年度に ・ 令和5年3月末融資残高 1,332,363千円 ・ 令和5年度新規貸付 218件 995,842千円						
・ 行った主な活 動内容)	・各金融機関に四半期ごとの融資実績に応じて預託を行う。	事業費計	千円	0	519,950	544,475
#JF 3 CL /	貸付金(預託金) 541,890千円	一般財源	千円		1,660	2,585
		特定財源(国·県·他)	千円		518,290	541,890
		(うち受益者負担)	千円		0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
±1 cm = × nn	前年よりも多くの市内中小企業者が融資実行に至ることができたこ	融資実行を受けた中小企業者数(本事業)	件	110	130	218	値が大きいほど良い	効果が上がった
	とから、結果的に事業資金の借入を容易にし、事業資金調達コスト							
(Cカウ、柏木可に事業員並の個人を台勿にひ、事業員並過度コスト を減らすことができた。							
ƌ)	では、一で高めりられている。							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指煙全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した	0		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなり、前年度に比べて景気が回復した結果、事業所等新型コロナウイルス感染症緊急景気対策事業の緊急景気対策資金(信用保証料全額補助・利子全額補助)の利用が減少し、本事業の利用が増加した。しかし、原油高・物価高騰等により、市内中小企業者を取り巻く情勢は依然として厳しい状況にあることや、金融機関からは引き続き利用しやすい制度の見直しの要望があることを踏まえ、経済情勢に合わせて融資制度の見直しを行う必要がある。

事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成、	受益者負担の見直しなど)
車業効用を トげるけ	- みの車扱み美の栓	≽≣ .†

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組	蛍	阳
4人小山	レロノし	~/ J

経済情勢に合わせて制度融資の見直しを行う必要がある。

仕事の振り返りシート(令和5年度実施分) 作成・更新日 令和6年8月8日										
事業名	伝統工芸	品振興協	協議会運営支援事業	実施計画事業or一般事業	—,	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	青報					•		I.		
	部	産業文化スプ	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
	課	産業政策課		伝統工芸品振興協議会	予算	款	7	新規or継続		事業
	係	産業政策係		運営支援事業	科目	項	1	市単独or国県補助		中事業
	体系コード	111	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意		り事業
政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	 伝統工芸品振興協議会	事業	開始年度	H13	実施方法	直	営
	政策	1	企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり	交付金交付要領	期間	終了年度	_	事業分類	支援	事業
	施策	1	活力ある商業・鉱工業の振興	21322						
(1) 事業概要 「伝統工芸品の声価を高め、産業振興を図るため、栃木県伝統工芸品の指定を受けた工芸品を製造する市内の団体及び個人によって組織された佐野市伝統工芸品振興協議会の運営を支援する。										
(2)目的	勺			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的 (本事業に	l			県指定伝統工芸品数	個	7	7	7	7	7
よって成し			協議会の伝統工芸の声価を高め、関係							
遂げたい	機関との連	絡調整·情報	交換が図られる。							
状態)										
3. 前年度 (1)活動		舌動及び費用	月対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	が事業費の	准移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				交付金の交付回数		1	1	1		
	(市の活動									
活動実績	父付金の支 	と出を行った。								
(R5年度に	(/ / #⊞ヌ ± /	☆十世口#5	興協議会の活動)			<u> </u>				
行った主な活			st興励議会の活動) ト内の佐野コミュニケーションセンターへの伝	事業費計	千円	0	140	140		
到171日)	統工芸品展	≷示・パンフレ ッ	ット設置、イオンモール佐野新都市20周年			0		140		
	祭のフースと 	出展、エンバシ	ノーカップでの展示。	特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0		
			(うち受益者負担)	千円	0	0	0			
(3)活重	動による効果			(4)事業効果を説明する数	 対値デー	— - タの推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5		R4とR5の比較
ᄽᄪᆓᇚ				県指定伝統工芸品数	個	7	7	6	値が大きいほど良い	効果が下がった
効果説明	天明鋳物σ	職人の方が	1名亡くなられたため、県指定伝統工芸品							
	- 「人の好物の職人のカカエ石になりにん。 朱泪足は帆上去印									
(定量及び	数は1個洞	な少した。								
(定量及び	数は1個洞	対少した。								

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較	1
÷+ ED =+4 DD		県指定伝統工芸品数	個	7	7	R5 指標の性質 R4とR5の比較 7 6 値が大きいほど良い 効果が下がった			
効果説明 /宝号でご	天明鋳物の職人の方が1名亡くなられたため、県指定伝統工芸品								l
	1 24/1 T 1 AIN (EV./ 12) . 1 -								l
X_1/									l
									ı

(5)費用対効果結果(自動判定)

(日勤刊足)		_
才源増減)	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断
た指標数	0指標	
ない指標数	0指標	
た指標数	1指標	1
指標全体	効果が下がった	
	オ源増減) かた指標数 ない指標数 かた指標数	オ源増減) 費用の増減無し がた指標数 0指標 ない指標数 0指標 かた指標数 1指標

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			0
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

事業費の内訳の見直し、総会後の時間の活用方法の検討をする。

(つ) ⊢≕ (省占乃バ課題を踏ま	ラた 今和6年月	安乃が今和 フ	年度の取組

事業の在り方検討	(廃止、休止、	再編成、	受益者負担の見直しなど)
事業の在り方検討	(廃止、休止、	再編成、	受益者負担の見直しなど	-

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

☑ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

PR補助としての金額の変更、総会後の懇談会・意見交換会等の実施。

	特定計量	器定期検	企业	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
事業名	107-211	= 111 / / / / / / /	<u> </u>	施策横断的な取組との関連性				該当なし		
. 基本	青報			NESKI JANAS PROJECT IN SERVICE	0000	122.00		12/11/0		12/1-0-0
	部	産業文化スプ	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
当組織	課			特定計量器定期検査事業	予算	款	7	新規or継続	継続	事業
	係	産業政策係		137021 = 22707 33702 3 310	科目	項	1	市単独or国県補助		虫事業
	体系コード	111	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意的	り事業
放策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	計量法第19条		開始年度	H5	実施方法	直	営
~> \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	政策 1		企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり	計量法施工令	期間	終了年度	-	事業分類	支援	事業
	施策	1	活力ある商業・鉱工業の振興							
2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要 業務用取引・証明用として使用するはかり(特定計量器)について、使用する事業者には2年に1回の定期検査が義務づけられている。市は、県の計量検定所が										
業概要	各市町指定	の会場で行	う検査に向け、事前に行う対象事業所の訪	問調査や検査日等の周知を業	務委託	している。				
2)目的	内			(3)目標値		_				
目的				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
本事業に	特定計量器	と 使用してい	る市内の商工業者に、計量の適正化に	検査に合格した計量器の割合	%	100		100		10
たって成し	関する意識	を高めてもらし	い、検査に合格した計量器を使用してもら							
遂げたい	う。									
状態)										
• 則平 <i>[</i> 1)活動		5割及ひ貸用	i対効果)説明 	(2)活動を説明する数値デ 活動指標 事前調査件数	ータ及び 単位 件	が事業費の R3 430	性移 R4 0	R5 382		
動実績			施年であったため、委託業者による事前調 日にかけて実施。検査は10月6日〜10月							
った主な活	23日で、植	野·城北·吾	妻・赤見・葛生・中央公民館、たぬまふる	事業費計	千円	414	0	449		
動内容)	さと館で実施	包		一般財源	千円	414		449		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
 〔3 〕活動	動による効果			(4)事業効果を説明する数	マ値デー	— - タの推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
力果説明				検査に合格した計量器の割合	%	100		98.2	値が大きいほど良い	効果が下がた
リ未 説 明 定量及び			年度との比較はできないが、事前調査等を							
定性)	業務委託し	て受検対象	事業者の把握に努めている。							
	L					<u> </u>	<u> </u>			
		果(自動判定	E)	-						-
聞(R5	とR4の一般		費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が効果は変わ	った指標数 うない指標数	0指標 0指標	l	神	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
R5とR4の 標値増減)	効果が下が	った指標数	1指標		費田	費用の増減無し				
37环10年1月10人)		指標全体	効果が下がった		用	費用が増加した			0	
	度に向けた検	: 計								

取組説明

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

□ 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

什事の振り返りシート(令和5年度実施分) 令和6年7月31日 作成·更新日 事業名 販路拡大チャレンジ支援事業 市長公約 該当なし 総合戦略 実施計画事業 実施計画事業or一般事業 該当あり 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報 産業文化スポーツ部 単年度繰り返し 部 予算中事業名 会計 一般事業計画 担当組織 課 産業政策課 予算 款 7 新規or継続 継続事業 販路拡大チャレンジ支援事業 1 市単独or国県補助 産業政策係 科目 項 市単独事業 係 名称 根拠法令、条例等 2 義務or任意 任意的事業 体系コード 111 目 直営 基本目標 1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり 事業 開始年度 H11 実施方法 政策体系 佐野市販路拡大チャレンジ補 期間 終了年度 支援事業 政策 1 企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり 事業分類 助金交付要綱 施策 1 活力ある商業・鉱工業の振興 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要 販路拡大を目的とした展示会・見本市・商談会等に出展する製造業者に対して補助金を交付する。物産展等の販売を主目的としたものは対象外。展示会の出 事業概要 |展料(小間代、展示小間装飾費、輸送費等)の2分の1(上限額は国内展示会25万円、海外展示会40万円)を補助。ただし、同一補助事業者に対し、1 (2)目的 (3)目標値 単位 R3 R4 R5 R6 R7 効果指標 日的 20 22 28 展示会出展日数 H 24 26 (本事業に 市内事業所が、各種展示会に積極的に出展することで、商業・鉱 社 7 7 展示会出展者数 7 7 7 よって成し 工業事業者の経営の安定を図る。 遂げたい 状態) 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (1)活動実績 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移 活動指標 単位 R4 R5 補助金交付件数 件 4 9 8 活動実績 ・8社に補助金を交付した。 (R5年度に ・広報さの8月号への掲載等を行い、制度の周知を図った。 行った主な活 事業費計 千円 634 1,973 1,998 動内容) 一般財源 千円 634 1,973 1,998 千円 特定財源(国·県·他) 千円 (うち受益者負担) (3)活動による効果 (4) 事業効果を説明する数値データの推移 し選択して下さい 指標の性質 R4とR5の比較 単位 R3 R4 R5 効果指標 23 効果が下がった 展示会出展日数 日 11 21 値が大きいほど良い 効果説明 数値では効果が下がっているが、コロナ時に比べ展示会が積極的に 9 8 値が大きいほど良い 展示会出展者数 社 効果が下がった 4 (定量及び 行われるようになり、展示会に出展する事業者は増加傾向である。 定性) (5) 費用対効果結果(自動判定) 費用(R5とR4の一般財源増減) 費用の増減無し 効果 ※10万円以上の増減により判断 効果が上がった指標数 0指標 効果が上がった 効果は変わらない 効果が下がつ 効果 効果は変わらない指標数 0指標 費用は下がった 費 (R5とR4の) 効果が下がった指標数 費用の増減無 指標值増減) 用 指標全体 効果が下が 費用が増加した 4. 次年度に向けた検討 (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

制度の周知を継続する。		
אנייוער אינייור		

(:	2)	上記反省点及び	『課題を踏まえた、	令和6年度及び	「令和7年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成	、受益者負担の見直しなど)
--	----------	------------	---------------

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

取組説明

仕事の振り返りシート(令和5年度実施分)

作成・更新日 令和6年8月8日

事業名 連合栃木わたらせ地域協議会事業福祉厚生支援事 実施計画事業or一般事業 一般事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当なし コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし

1. 基本情報

		部 産業文化スポーツ部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	担当組織	課			連合栃木わたらせ地域協議	予算	款	5	新規or継続	継続事業
		係			会事業福祉厚生支援事業	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
		体系コード	111	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	連合栃木わたらせ地域	事業	開始年度	H17	実施方法	直営
	IXXX PT/IX	政策	1	企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり	協議会事業福祉厚生費	期間	終了年度	_	事業分類	支援事業
		施策	1	活力ある商業・鉱工業の振興	補助金交付要領			<u> </u>		

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要

連合栃木わたらせ地域協議会を支援することにより、勤労者の福祉の充実、雇用の安定に寄与する。

*連合栃木わたらせ地域協議会は労働者の諸権利の確立、基本的労働条件の維持・向上、未組織労働者の組織化等の事業を進め、勤労者の福利厚生を目 的とした団体である。

(2)目的 (3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		福利厚生活動開催回数				4	4	4
(本事業に	連合栃木わたらせ地域協議会の福利厚生事業が良好に運営でき							
よって成し 遂げたい	るよう支援する。							
状態)								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(1)/113	奶人快	(2) 冶動色配列 / 00 子来真の配列					
		活動指標	単位	R3	R4	R5	
		補助金の交付回数		1	1	1	
	(市の活動)						
活動実績	連合栃木わたらせ地域協議会に補助金の支出を行った。						
(R5年度に						1	
行った主な活動内容)		事業費計	千円	0	680	680	
<i>≆</i> 31 3 □ 7	組織強化活動 政策·制度要求活動 労働者福祉·地域社会貢 献·市民活動	一般財源	千円	0	680	680	
		特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0	

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
***			福利厚生活動開催回数		5	6	4	値が大きいほど良い	効果が下がった
	果説明	前年度より減少はしたが、目標値には到達している。							
•	産量及び 定性)								
	ŒŒ)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	0指標
メル未 (R5とR4の 指標値増減)	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	1指標
	指標全体	効果が下がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			0
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

油田市	 全 類/	の減額	を給討	けオス

(2)	ト記反省占及び課題を踏まえた	今和6年度及75今和	7 年度の取組

事業の在り方検討	(廃止	休止	再編成	受益者負担の目直しなど	

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

☑ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

引き続き財政支援をするが、団体の自主運営を促しながら、対象経費の内容・金額の検討を 行う。

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

業名	ジェトロナ	が が大貿易情報センター参画事業	実施計画事業or一般事業	_	般事業	古目小炉	該当なし	经全等点	該业≠□
₹石	ンエトロか	が不見る。同報にノグージ画事業							
. 基本情	善		施策横断的な取組との関連性	SDGS	該ヨなし	コンハクトシティ	該当なし	人マートンティ	該当な
	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名		会計	<u>ტ</u> л	事業計画	単年度	緑いで1.
	課	産業政策課	ジェトロ栃木貿易情報セン	予算	款		新規or継続	継続	
. 二 水丘水既	係	産業政策係	ター参画事業	科目	項	1	市単独or国県補助		サモ 中事業
	体系コード	111 名称	根拠法令、条例等	17-11	目	1	義務or任意	任意的	
			12.00.000.000	+ #				直	
策体系	基本目標	1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	-		開始年度	H2/	実施方法		
	政策	1 企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり	-	期間	終了年度	-	事業分類	参画	事業
. 事業 概 1)事第	業概要	1 活力ある商業・鉱工業の振興 なび(基本計画期間内)目標値				10 15 114 - 1-1	ΦD, db ⇔ L	COLUMN TO L	
業概要	いポテンシャ	所並びに国内事務所等から成る国内外ネットワークをフル ルを海外と直接結びつけ、地域経済活性化と地方創生 日各市町が管内の事業所数に応じて負担金を支出して	Eに向けた取り組みを行うなど、市						
2)目的	勺		(3)目標値						
			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		たっこうけい 海内のからのパノプル ウェウナナーン しっ	利田車業武器	社	15	18	21	24	2
**************************************		所に対し、海外の独自のパイプやノウハウを持つジェトロ							
		i外に活路を見出し、ビジネスチャンスの場を増やすことで							
遂げたい 状態)	経営の安定	で図る。							
i/Nev)									
. 前年度 1)活動		舌動及び費用対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ 活動指標	- タ及で 単位	が事業費の打 R3	<u>推移</u> R4	R5		
,	(本の活動)		用力会压力公 从数	+-тт	25	25	25		
	(市の活動)		県内参画自治体数	市町	25	25	25		
	ジェトロ栃木負担金拠出団体として、ジェトロ栃木貿易センター運 動宝績 営にかかる市町村負担金200千円を支出した。								
到大帜	呂にかかる「	7回村貝担金200十円を文出した。							
	(>) - F	67 C k +							
	(木貿易情報センターの活動)	事業費計	千円	200	200	200		
加八合)		目談、セミナー開催、企業への個別専門的支援、バイ	一般財源	千円	200	200	200		
		商談会開催、海外展示会への出展支援、メールマガジ							
	ンによる情報	B提供などを実施。	特定財源(国·県·他)	千円					
			(うち受益者負担)	千円					
2) T.	L/- L L L		/ 4 \ ==================================	L/±-"	5 0 14 TA		ı		
3) 活曳	めによる効果 T		(4)事業効果を説明する数			D.4	- D.F	↓選択して	
			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
果説明			利用事業所数	社	13	18	10	値が大きいほど良い	効果が下が
定量及び		f数に若干の変動はあるが、本事業への参画により市内							
定性)	事業者かジ	ェトロを利用できている。							
5) 費月	用対効果結果	果(自動判定)							
用(R5	とR4の一般	財源増減) 費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が					効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
刈未 R5とR4の		らない指標数 0指標		費	費用は下がった				
標値増減)	効果が下が	った指標数 <u>1指標</u> 指標全体 効果が下がった	-	用	費用の増減無し				
		THE PARTY OF THE P	_		9e/13/3 - El/34O/C				
		討							
1) 令和	度に向けた検 ①5年度の 事業に参画	事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意 する。	見等を踏まえた検討課題、費用:	対効果[句上のための)課題			
1) 令和 き続き本 2) 上記	115年度の事 事業に参画 こ反省点及で			<u>対効果[</u>	<u>句上のための</u>)課題			

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

5 兴力	虚	C 类作倒分签协議人参丽事类	\$P\$1天春光。 机春光		on.亩₩	+= // 45	=#1//#1	6/1) _ 15/17 II/O	=+.1/.+.1
業名	女佐冏_	C業振興対策協議会参画事業	実施計画事業or一般事業 施策横断的な取組との関連性		般事業 該当かし			総合戦略	該当なし
. 基本	情報		形象機両門る状間での因とは	3003	BX = 760	227771271	BX = 1/8 U	X(12)1	BA 1/6(
	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	
当組織	課	産業政策課	安佐商工業振興対策協議	予算	款	7	新規or継続	継続	
	係 体系コード	産業政策係 111 名称	会参画事業根拠法令、条例等	科目	<u>項</u> 目	2	市単独or国県補助 義務or任意	市単独任意的	
	其木口堙	1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	(区)及(八 木)八号	事業	開始年度		実施方法	直	
大策体系	政策	1 企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり		期間	終了年度	-	事業分類	参画	 事業
	施策	1 活力ある商業・鉱工業の振興			•				
. 事業((1) 事		ひで(基本計画期間内)目標値							
業概要		が、歴史的・政治的・経済的に一体であるという共通理系 経済活性化を推進することを目的として「安佐商工業振興			-				
2)目的	的		(3)目標値						
目的	++**	- ## **! - # # # # # # # # # #	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
本事業に		□業者に対し、地域経済の活性化、商工業の振興に資 「示され、事業の円滑な運営・充実化が図られるとともに、	会員事業所数/市内事業所数	%	47	48	52	53	5
よって成し		示され、事業の円滑な連呂・元美化が図られるCCもに、 会議所及び佐野市あそ商工会の会員の増加が図られ							
遂げたい 状態)	る。								
,									
. 前年/	度の実績(氵	舌動及び費用対効果)説明							
1)活	動実績		(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	が事業費の	推移		ī	
			活動指標	単位	R3	R4	R5		
			負担金支出回数		0	1	1		
動実績	113 (101 23	0千円の負担金を支出した。							
(R5年度に 芳行った主な活	以任何工家	業振興対策協議会では、総会や視察研修等の事業を		千円	0	100	250		
動内容)	実施した。		5 11 15 15 1						
			一般財源		0	100	250		
			特定財源(国・県・他)	千円					
			(うち受益者負担)	千円					
3)活	動による効果		(4)事業効果を説明する数					↓選択して	下さい
			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
果説明			会員事業所数/市内事業所数	%	47	48	51	値が大きいほど良い	効果が上がっ
定量及び	会員事業所	近数の増加につながった。							
定性)									
		果(自動判定)	_						
	5とR4の一般 「効果がよか	財源増減	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果の表別の表別を表別の表別を表別の表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	効果が下がった	
効果 (R5とR4の	効果は変わ	らない指標数 <u>0指標</u>		費	費用は下がった	が未が上がった	が末は交わりない	対米ルートルンに	
(KJCK+6) 旨標値増減)	効果かりか	がた指標数 <u>0指標</u> 指標全体 効果が上がった	-	用	費用の増減無し	0			
	度に向けた検	· 計							
1) 市	和 5 年度の への参画を継	事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意 <u>り</u> 続する。	兄寺を踏まえた快討 迷題、負用)	<u> </u>	<u>□]_E()/[=&)(</u>	り 球退			
協議会									
	記反省点及	び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組		1					
			取組説明]					
	事業の在り	方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 全上げるための事務改善の検討]					

作成•更新日 令和6年8月8日

1上尹	11事の派り返りンート(つ和3年及夫加刀) 「「一」「「一」「「一」」「一」「一」「一」「一」「一」「一」「一」「一」「一」									
事業名	共同高等	穿産業技術]	実施計画事業or一般事業	—,	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり
1. 基本情	青報									
	部	産業文化スプ	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画		
		産業政策課		共同高等産業技術学校	予算	款	5	新規or継続	新規	
	係産業政策係		PCB	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	事業	
	体系コード	イコード 111 名称		根拠法令、条例等		目	3	義務or任意	任意的	的事業
政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物	事業	開始年度	R5	実施方法	一部	委託
以來冲示	政策	1	企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり	の適正な処理の推進に関する特別 措置法、廃棄物の処理及び清掃に	期間	終了年度	R5	事業分類	施設維持	管理事業
	施策	1	活力ある商業・鉱工業の振興	関する法律						
2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要 共同高等産業技術学校で保管しているPCB含有の機器の処分を行う。 特別管理産業廃棄物の一つであるPCB廃棄物については、法律により令和8年度までに全量廃棄処理することが義務付けられている。										
(2)目的	<u> </u>			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				処理済保有PCB含有機器の割合	%			100	100	100
			において処分が必要とされるPCB含有機							
よって成し 遂げたい	器を適切に	処分し、当該	施設の安全性を維持する。							
状態)										
3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (1)活動実績 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移										
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				加ェ東文トニンフ米五(ユニCLCO)	4	0	0	-		
				処理済トランス類(JESECO)	台	0	0	1		
	認定を受け	た処分事業者	皆へ、該当機器の無害化処理を委託し							
	た。									
(R 5 年度に	また、佐野市	市勤労者会館	宮から処分場への運搬を事業者に委託し							
行った主な活動内容)	た。なお、業	者選定と契約	りについては、財産活用課が一括して行っ	事業費計	千円	0	0	33		
	た。			一般財源	千円	0	0	0		
					千円	0	0	33		
				付足的版(国•県•他)	TI	U	U	33	l	
				(うち受益者負担)	千円	0	0	0		
(2) 江东	もに トスか田			(4) 東要効用も説明する粉	·/古二"	カル+#-1タ			1 2554 [1]	
(3) 活製	かによる効果 I			(4)事業効果を説明する数			D.4	DE	→選択して 指標の性質	
				効果指標 処理済保有PCB含有機器の割合	単位 %	R3 0	R4 0	R5	34131 11230	効果が上がった
効果説明	坐 蒙饰927	保管または危	使用しているPCB含有機器をすべて廃棄処	处连洱休伯PCD召有機器切割百	70	U	U	100	値が大きいほど良い	刈未ルエルンに
(定量及び	理した。	. 体目もんはが	E用UCい図FCD召有機品で9八C無条処							
定性)	生した。									
									<u> </u>	
		果(自動判定	E)	Ī						
	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が		1指標			井田は下が-+	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果は変わり	らない指標数 った指標数	0指標 0指標		費	費用は下がった	0			
指標値増減)	77321073 1 73	指標全体	効果が上がった		用	費用が増加した				
	4. 次年度に向けた検討 (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題									
(2) L=	15少上177	(三田旦古七 ロ水十二	うた 今和6年度では今年3年度の空の							
(2) 上記	[以自点及(/誄選を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明	Ī					
	車業のたり	古烩哥 /南:	. 사내 표현라 포포포스텐츠므로 시킨	以組就明						1
			、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討							
	事業別果で		尹勿以告が代別							
			D事務改善の検討							

作成•更新日 令和6年8月8日

JT #	江争の派り返りノード(市和34及天旭刀)											
事業名	勤労者会	全館PCB原	·····································	実施計画事業or一般事業	—f		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし		
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ		スマートシティ	該当なし		
1. 基本情												
+D 1144D4**	部	産業文化スプ		予算中事業名		会計		事業計画	単年原			
担当組織	課	•		勤労者会館PCB廃棄物		款		新規or継続	新規			
	係 産業政策係 体系コード 111 名称			処理事業 根拠法令、条例等	科目	項 目		市単独or国県補助 義務or任意		虫事業 勺事業		
	体系コード 基本目標	111		ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物	事業	開始年度		実施方法		委託		
政策体系			魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	の適正な処理の推進に関する特別					施設維持			
	政策 施策		企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり 活力ある商業・鉱工業の振興	措置法、廃棄物の処理及び清掃に	נטונאל	終了年度	KS	尹未刀炽)心。又作1寸	日任尹未		
2. 事業概	2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1)事業概要											
事業概要 特別管理産業廃棄物の一つであるPCB廃棄物については、法律により令和8年度までに全量廃棄処理することが義務付けられている。												
(2)目的	(2)目的 (3)目標値											
(= / HP	-			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7		
目的			処理済保有PCB含有機器の割合	%			100	100	100			
(本事業に	PCB廃棄物	7特別措置法	において処分が必要とされるPCB含有機									
よって成し 遂げたい	器を適切に	処分し、当該	施設の安全な運営を継続する。									
状態)												
,												
3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (1)活動実績 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移												
				活動指標	単位	R3	R4	R5				
				処理済トランス類(JESCO)	台	0	0	2				
				Z-1/11)) / (X (32300)				-	1			
活動実績		た処分事業を	香へ、該当機器の無害化処理を委託し									
/日勤天順 (R5年度に	た。	++L114 +2 ^ &										
行った主な活	また、佐野市勤労者会館から処分場への運搬を事業者に委託し			事業費計	千円	0	0	324	İ			
動内容)		有選正と契約	りについては、財産活用課が一括して行っ	2 3 3 2 3 2 3								
	た。			一般財源	千円	0	0	0				
				特定財源(国·県·他)	千円	0	0	324				
				(うち受益者負担)	千円	0	0	0				
								1	J			
(3)活動	かによる効果			(4)事業効果を説明する数					↓選択して			
				効果指標	単位	R3	R4	R5		R4とR5の比較		
効果説明	\\/= +. +/ - =□.→	- /□ ⁄∽++ /+/	EDL マハスDOD会士松四ナナッス序奏加	処理済保有PCB含有機器の割合	%	0	0	100	値が大きいほど良い	効果が上がった		
(定量及び		:保官または恨	使用しているPCB含有機器をすべて廃棄処									
定性)	理した。											
		果(自動判定		1						•		
費用(R5	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果				
効果	効果が上が	った指標数_ らない指標数	1指標 0指標		7112	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			
(R5とR4の	効果が下が		0指標		費	費用の増減無し	0			1		
指標値増減)		指標全体	効果が上がった		用	費用が増加した				ļ		
	4. 次年度に向けた検討 (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題											
(2) 上記	己反省点及び	/課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組		_							
		上げるための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討	取組説明								
)事務改善の検討									

仕事の振り返りシート(令和5年度実施分) 作成・更新日 令和6年6月28日								
事業名	勤労者会館運営事業	実施計画事業or一般事業	— <u></u> j	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本								
	部 産業文化スポーツ部	予算中事業名		会計		事業計画	単年度	
担当組織	産業政策課	勤労者会館運営事業 動労者会館運営事業	予算	款		新規or継続	継続	
	係 産業瀬策係 なお なお は は は は は は は は は は は は は は は は は		科目	項		市単独or国県補助	市単独	
	体系コード 111 名称 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	根拠法令、条例等 佐野市勤労者会館条例、	击₩	目		義務or任意	任意的	
政策体系	基本目標 1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野川	事業期間	開始年度	H3	実施方法		委託 笠田恵業
	政策 1 企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり 施策 1 活力ある商業・鉱工業の振興	施行規則	州川山	終了年度	_	事業分類	施設維持	官埕争耒
2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1)事業概要								
事業概要 市内の勤労者の福祉の増進と文化の向上を図ることを目的として設置している佐野市勤労者会館の管理運営を行う。								
(2)目的 (3)目標値								
目的		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
(本事業に	 市内の勤労者及び市内の事業所に対して、研修会や会議のため	利用件数	件			500	520	550
よって成し	の会場を貸し出すことにより、福祉増進と文化の向上を図る。							
遂げたい 状態)	WE WE WE WAS A STATE OF THE STA							
1八忠)								
3. 前年 原 (1)活動	度の実績(活動及び費用対効果)説明 助実績 「	(2)活動を説明する数値デ					1	
		活動指標 	単位	R3	R4	R5		
		開館日数	日	243	238	245		
活動実績 (R5年度に	活動内容							
行った主な活動内容)	・市内の勤労者及び団体等への貸館業務及び管理運営。	事業費計	千円	0	6,016	8,889]	
		一般財源	千円	0	4,719	7,532]	
		特定財源(国·県·他)	千円	0	1,297	1,357		
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0		
(3)活動	動による効果	(4) 事業効果を説明する数	な値デーク	タの推移			↓選択して	下さい
,		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
ᄽᄪᄣᅃ		利用件数	件	333	462	491	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明	利用件数は増加傾向にあるので、引き続き快適に利用してもらえる							
定性)	ように円滑な施設管理を行う。							
/ . \								
	用対効果結果(自動判定) とR4の一般財源増減) 費用が増加した	 ※10万円以上の増減により判断				効果		Ì
	効果が上がった指標数 1指標	本 1 0 71 口以上の垣がにより刊断			効果が上がった		効果が下がった	
効果 (R5とR4の	効果は変わらない指標数 0指標		費	費用は下がった				
指標值増減)	効果が下がった指標数 0指標 指標全体 効果が上がった		用	費用の増減無し	0			
	コロルエロー・バネルエルブル							

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

佐野文化会館が改修工事により使用不可のため、勤労者会館への利用が集中することが予想される。利用者が快適に使用できるような施設管理を引き続き行う。また、駐車場の除草作業については改修工事が終わるまでの対応を検討する。

2)	上記又自只及び課題を始まれた、 市和 6 年度及び市和 7 年度の取組		
		取組説明	
	□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)		
	□ 事業効果を上げるための事務改善の検討		
	☑ 事業費の見直し検討	除草作業を委託するための予算	章等確保
	□ 業務時間効率化のための事務改善の検討		
	□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)		

事業名	作取EDE	商店街協同組合運営支援事業	実施計画事業or一般事業	_	般事業	市長小約	該当なし	総合戦略	該出地
学来石	ドエキア河ハト	FI向加切伽凹旭口连占义及于未	施策横断的な取組との関連性				該当なし		該当な
. 基本	吉紹		ルス傾倒的な採組との利用は	SDGS	談当ない	12/19/19/11	談当ない	A4-1971	
· 2541	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名		会計	— <u>ф</u> ъ	事業計画	単年度	繰り返し
当組織	課	産業政策課	佐野駅南商店街協同組合	予算	款		新規or継続	継続	
	係	産業政策係	_	科目	項	1	市単独or国県補助		事業
	体系コード	111 名称	根拠法令、条例等	170	目	2	義務or任意	任意的	
			似处法节、未例等	市쌮	1 1			直	
放策体系	基本目標	1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野駅南商店街協同組合		開始年度	557	実施方法		
	政策 施策	1 企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり 1 活力ある商業・鉱工業の振興	運営費補助金交付要領	期間	終了年度	-	事業分類	支援	事 業
.事業 (1)事業	既要と目的及	そび(基本計画期間内)目標値							
業概要	理事業に伴	商店街協同組合が行う佐野駅南商店街顧客誘致事業 当う商店街近代化事業の実現を図るために設立され、佐 支援等を行っている。							
2)目的	kl		(3)目標値						
-/ -	. ,		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的			会員店舗数/佐野地区商店数	%	4.9	4.9	1(3	100	147
本事業に	佐野駅声	商店街協同組合に対し、財政的な支援をすることで、同		% %	4.9	4.9	0.01	0.015	0.0
よって成し		前后国闘闘神祖日に対し、対談的な文法をすること、同 第充実・運営の円滑化・会員数増加が図られる。	云貝店研数/印列向店数	70			0.01	0.013	0.0
遂げたい	小ユロツザオ 	えった 住口ツロカロ・女民外名が以づける。							
状態)									
. 前年 原 1)活動		舌動及び費用対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	が事業費の打	進移			
活動実績 (R 5 年度に テった主な活)			活動指標	単位	R3	R4	R5		
			補助金交付回数	0	1	0	0		
	令和5年度	は、事業実施状況から判断し、補助金を交付しなかっ	加加亚人 1四数			0	0		
			事業費計	千円	640	0	0		
動内容)			2 3 1 32 1				_		
			一般財源	千円	640	0	0		
			特定財源(国·県·他)	千円					
			(うち受益者負担)	千円					
3)活動	動による効果		(4) 事業効果を説明する数	(値デー	タの推移			↓選択して	下さい
-,			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
			会員店舗数/佐野地区商店数	%	4.9	4.9	113	値が大きいほど良い	
果説明			会員店舗数/市内商店数	%	15	1	0.01	値が大きいほど良い	効果は変わら
定量及び			五吳/山陽欽/ 刊刊 引动/山欽	70			0.01		7,3-1-10-32-1- 0
定性)									
					I.		l .		
,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	果(自動判定)	7						
類用(R5	とR4の一般		※10万円以上の増減により判断				効果		
効果		うた指標数 <u>0指標</u>	_		#m/+=+* +	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
R5とR4の		らない指標数1指標った指標数0指標	-	費	費用は下がった		\circ		
標値増減)	77321473 1 73	指標全体 効果は変わらない		用	費用が増加した				
1) 令和 業実施の 2) 上記	の状況を確認	意対 事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意思しながら、財政面の支援を継続する。 が課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組 方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)		対効果[句上のための	D課題			
	事業効果を	上げるための事務改善の検討							
	事業費の見								
		効率化のための事務改善の検討							
1 1			į.						

11争の振り返りンート(市和3年及夫加万) 「「「「「「「「」」」」 「「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」										
事業名	佐野市を	るでである。	支援事業	実施計画事業or一般事業	— <u></u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
	•			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情										
		産業文化スプ		予算中事業名		会計		事業計画		
担当組織		産業政策課		- 佐野市あそ商工会支援事業	予算	款		新規or継続	継続	
	• • •	産業政策係			科目	項	_	市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	111	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意的	
政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市あそ商工会事業費補		開始年度	H19	実施方法	直	
201011111	政策		企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり	助金交付要領	期間	終了年度	-	事業分類	支援	事業
	施策	1	活力ある商業・鉱工業の振興							
(1)事業	美概要 佐野市あそ	商工会が行う	画期間内)目標値							
事業	事業概要 ぬまふるさと祭り・くずう原人まつり協賛などのまちなか活性化事業、市と協働した各種事業を行っている。市の取り組みとしては、補助金交付や各種事業を円滑に行うための連携を図っている。							1円消化1丁		
(2)目的	þ			(3)目標値						
, = / HP	-			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				会員事業所数/市内事業所数	%	12.4	12.5			
(本事業に	佐野市あそ	商工会に財配	文的な支援ををすることで、佐野市あそ商		,,,	- <u></u> 1	12.5	15.0	13.7	
よって成し)円滑化・会員数増加が図られる。							
遂げたい 状態)										
17/25/										
3. 前年度の実績 (活動及び費用対効果) 説明 (1) 活動実績 (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移										
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
					[6]	1	-1	-1		
				補助金交付回数	回	1	1	1	l	
\/+									で付や各種事業を円滑に行 R5 R6 R7 13.6 13.7 13.8 R5 1	
活動実績								1 1 0 8,910 0 8,910 ↓選択して下さい		
(R 5 年度に 行った主な活	令和5年度	は、事業費補	前かとして8,910千円を補助した。							
動内容)				事業費計	千円	8,910	8,910	8,910	i	
23.30,				一般財源	千円	8,910	8,910	8,910		
				特定財源(国・県・他)	千円					
				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					-	
				(うち受益者負担)	千円					
(2) 汗雨	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	がボー	か性段			 3 23 t D1 7	て下さい
(3) /白宝	MCG Q XIJAK			効果指標	単位	R3	R4	DE		
				会員事業所数/市内事業所数	半位 %	12.4	12.5	_		
効果説明				云貝尹未川奴/川州尹未川奴	70	12.4	12.3	12.9	IED/AGUIGERU	が来が上がった
(定量及び	横ばいではる	あるが、会員	事業所数は維持している。							
定性)										
	l						l		<u> </u>	
		果(自動判定		1						Ī
費用(R5	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が	<u>った指標数</u> らない指標数	1指標 0指標	-	-1111	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果が下が		0指標	-	費	費用の増減無し	0			
指標值増減)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	指標全体	効果が上がった	j	用	費用が増加した				
4. 次年度に向けた検討 (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題 財政的支援を継続する。										
(2)上語	己反省点及び	グ課題を踏まえ	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明						
	事業効果を 事業費の見	上げるための 直し検討	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討	-tAttild/u-7.J						
	□ 業務時間効率化のための事務改善の検討									

七手の振り巡りンート(令和5年度美施分) 「Richard State Control										
事業名	佐野商コ	C会議所支	援事業	実施計画事業or一般事業			市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
4 ₩₩.	+±0			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	部	産業文化スプ	ポーツ空	予算中事業名		会計	<u>фл</u>	事業計画	単年度	繰り返し
担当組織	課	産業政策課			予算	款		新規or継続	継続	
3	係	産業政策係		佐野商工会議所支援事業	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	111	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	り事業
政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	· 佐野商工会議所事業費補	事業	開始年度	H19	実施方法	直	営
IXXX PTVX	政策	1	企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり	助金交付要領	期間	終了年度	-	事業分類	支援	事業
	施策	1	活力ある商業・鉱工業の振興	JJ W N N N N N N N N N N N N N N N N N N						
2. 事業 概 (1)事業		とび(基本計	画期間内)目標値							
事業概要	かサロン・ま	ちなか楽市・ま	市内の商工業者の振興発展に寄与する活 ちの学校などのまちなか活性化事業、市と なり組みとしては、補助金交付や各種事業	協働した各種事業、議員・会員	・職員と					
(2) ⊟#	tı			(2) 日堙値						
(2)目的	צ			(3)目標値 効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				会員事業所数/市内事業所数	<u>∓⊞</u> %	35.0	35.9	39.0	39.1	39.3
(本事業に	佐野商工会	会議所に財政	的に支援することで、佐野商工会議所の	27() 7(7) 27(1-1) 3 7(7) 27	70	33.0	3313	33.0	3311	3313
よって成し 遂げたい	事業充実・	運営の円滑化	比・会員数増加が図られる。							
状態)										
3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (1)活動実績 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移										
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				補助金交付回数		1	1	1		
							-	-		
活動実績									-	
(R5年度に	今和5年度	计 事業費組	前かとして5,850千円を補助した。							
行った主な活	13/113-1/2			事業費計	千円	5,850	5,850	5,850		
動内容)				一般財源	千円	5,850	5,850	5,850	ĺ	
				特定財源(国・県・他)	千円	7,000	-,,,,,	-,,,,,		
									-	
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活重	かによる効果			(4)事業効果を説明する数	で値データ	タの推移			↓選択して	下さい
() , , , , ,	,,,,,,,,,			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
±1 cm=4 an				会員事業所数/市内事業所数	%	35.0	35.9	38.1	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明 (定量及び	烘げいでけ:	ちろが 今日*	数は維持している。							
(定量及び 定性)	供はいては	いるか、女具な	次は非正はついている。							
, , , ,										
(5)費用	用対効果結果	果(自動判定	≣)							
費用(R5	とR4の一般	· · · · · · · · · ·	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が		1指標			***********	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果は変わめ	らない指標数 らた指標数	0指標 0指標	-	費	費用は下がった	C			
指標値増減)	77371(13 1 73	指標全体	効果が上がった	j	用	費用が増加した)			
4. 次年度に向けた検討 (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題 財政支援を継続する。 (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組 取組説明 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)										
	事業費の見	直し検討	事務改善の検討 D事務改善の検討							

作成・更新日 令和6年8月8日

江争の成り返りノート(中和3千皮夫旭カ)										
事業名	佐野労働	基準協会	支援事業	実施計画事業or一般事業	—,	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情		*************************************	10			l			11/4-d-	(BIO)E1
	部	産業文化スプ		予算中事業名	~~	会計		事業計画	単年度	
	課	産業政策課		佐野労働基準協会支援事		款		新規or継続 市単独or国県補助	継続	
	係 体系コード	産業政策係 111	名称	業 根拠法令、条例等	科目	<u>項</u> 目	1	義務or任意	任意的	中業
				低拠法力、未例等	車型	開始年度		実施方法	直	
以 東 体 糸	基本目標		魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり				п17			_
	政策 施策		企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり 活力ある商業・鉱工業の振興		체비미	終了年度		事業分類	支援	尹未
2. 事業 概 (1)事業 事業概要	既要と目的及 美概要 労働基準治	とび(基本計 法等諸法令の	画期間内)目標値 普及や労働保険事務組合の業務、労務領 動生産性の向上、産業の健全な発展に寄		ı 活動等 [;]	を推進する(左野労働暑	ま準協会を		により、労
(2)目的	<u> </u>			(3)目標値						
=				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				労務安全講習会の開催回数		8	10	12	12	12
(本事業に よって成し		証の増進、労	労働生産性の向上と産業の健全な発展が							
遂げたい	図れる。									
状態)										
3. 前年度の実績 (活動及び費用対効果) 説明 (1) 活動実績 (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移										
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				補助金交付回数		-1	- 1			
				補助並父刊四数	回	1	1	1		
マチレウ(生										
活動実績		か) 協会に補風								
(R5年度に 行った主な活	(佐野労働	動基準協会の	活動)労務管理、産業安全、労働衛生	古世書⊒	T m	100	100	100		
動内容)	等の講習会	ま、研修会の開	開催。技能講習等の斡旋・実施。	事業費計	千円	100	100	100	4	
				一般財源	千円	100	100	100		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)					1	
				(力)文益有共担)	千円]	
(3)活重	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	値デー	タの推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
+1 cm = 4 nn				労務安全講習会の開催回数		8	10	12	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明	学働者の短	がままる は	労働生産性の向上が図れた。							
(定量及び 定性)	力関省の他	単いっちに、ア	7 倒土/生日の円上が囚1 (7)と。							
<i>Æ</i> (±)										
(5)費田	日が効果結ら	果(自動判定	=)							
(-) > ()	とR4の一般	. (費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
	効果が上が		1指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(DELD40		らない指標数	0指標		費	費用は下がった				
指標值増減)	効果が下が	つに指標数 指標全体	<u>0指標</u> 効果が上がった		用	費用の増減無し	0			
		旧你工件	※ 対策は上げりに			東州が自加い に				
(1) 令和	をに向けた検 15年度の引 協会の支援を	 事業実施におり	ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用が	対効果[句上のための)課題			
	(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組 取組説明									
\Box	未幼时间签	/J -T' 1□V//⊂0/)(/	ノチッカ以合い代別	i						

11事の派り返りシート(中和3年及夫加万) 「「「「「「「「」」」」 「「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」										
事業名	産業財産	種取得支	:援事業	実施計画事業or一般事業	実施	計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
	I.			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情					1	1				
		産業文化スプ	ドーツ部	予算中事業名		会計		事業計画		
担当組織		産業政策課		産業財産権取得支援事業		款		新規or継続		
		産業政策係	67 I h	担加法会 名周笠	科目	項		市単独or国県補助		
	体系コード	111	名称	根拠法令、条例等	事業	目 開始年度		義務or任意		
政策体系	基本目標		魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市中小企業振興事業			HIS	実施方法	-	
	政策 施策		企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり 活力ある商業・鉱工業の振興	補助金等交付要綱	79][미	終了年度	-	事業分類	又扳	尹未
(1)事業	既要と目的及 美概要 産業財産権	なび(基本計 重(特許権、)	画期間内)目標値 実用新案権、意匠権、商標権)取得のな							
		る。国内及ひ 宴につき40万 ————	国外のいずれにも出願するときは、それぞれ 円まで)	[の栓貨を刈家と9る。	・組に刈り	家栓質の40	J/100以/^	12/20	回一佣助事	事業有に
(2)目的	þ			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				産業財産権出願件数	件		12	14	16	18
(本事業に	市内事業所	fに補助金を3	交付することで、産業財産権の取得促進							
よって成し 遂げたい	を図る。									
状態)										
3. 前年度の実績 (活動及び費用対効果) 説明 (1) 活動実績 (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移										
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				補助金交付件数	件		2	5		
				作的 並又刊 什 教	1+			3		
江丰中生	5計5件の額	制金を交付	l.t							
		、特許2件)	<i>57</i> 25						 総続事業 市単独事業 意 任意的事業 直営 数 支援事業 のれる経費に対して補助のの同一補助事業者に 86 R7 14 16 18 5 40 40 40 40 40 40 「指標の性質 R4とR5の比較 5 個が大きいほど思い 効果が上がった」 5 40 41 42	
(R 5 年度に 行った主な活	(1-3)3(8)11	(1321=11)		事業費計	千円	0	179	340	İ	
動内容)	広報さのへの	の掲載等を行	い、制度の周知を図った。	5 11 15 15 1		U	-		ł	
				一般財源	千円		179	340		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
				(75发血白兴三)	113				j	
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	値デーク	タの推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
効果説明				産業財産権出願件数	件		2	5	値が大きいほど良い	効果が上がった
(定量及び	産業財産権	この出願件数:	が増加した。						ļ	
定性)										
									<u> </u>	
(5)費用	用対効果結果	果(自動判定	<u>E</u>)	_						-
費用(R5	とR4の一般		費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		1
効果	効果が上が	った指標数 うない指標数	1指標 			費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果が下が		0指標		費	費用の増減無し				
指標値増減)		指標全体	効果が上がった		用	費用が増加した	0			J
(1) 令和	をに向けた検 日 5 年度の事 日 5 年度の事 日を継続する。	= 三業実施におり	ナる反省点、環境変化や関係者からの意 <u>.</u>	見等を踏まえた検討課題、費用え	対効果に	句上のための	D課題			
	(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組 取組説明 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事業効果を上げるための事務改善の検討 事業費の見直し検討 業務時間効率化のための事務改善の検討									

17 7	上手の瓜グをプラー「「Jana 一次人がピクラ)												
事業名	産業振卵	基本計画		実施計画事業or一般事業	実施	計画事業	市長公約	1-①	総合戦略	該当あり			
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当あり			
1. 基本情		ᅕᄴᅲᄱᄀ	₽ .vi÷/7	7/x + # 5		\ _ I	40.	= #=1-	出左座	(PI) FI			
担当組織	部	産業文化スプ産業政策課		予算中事業名	マ管	会計		事業計画 新規or継続	単年度組織				
担当和职	課 係	産業政策係		産業財産権取得支援事業	予算 科目		,	市単独or国県補助	市単独				
	体系コード	111	名称	根拠法令、条例等	170	目		義務or任意	任意的				
_, _, _	基本目標		魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	INJULY 13 (>K/) ()	事業	開始年度		実施方法	直				
政策体系	政策		企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり			終了年度		事業分類	支援				
	施策		活力ある商業・鉱工業の振興			11/2		チボガス		3 210			
2. 事業 概(1)事第		なび(基本計	画期間内)目標値										
事業概要	令和4年度	き~7年度を	計画期間とし、策定した産業振興基本計画	画』にかかげた各種の取組を推 う	進する。								
(2)目的 (3)目標値													
\ _ / LIP	-			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7			
目的				産業財産権出願件数	件		12	14	16	18			
(本事業に	各産業分野	か各施策の	横断的な取組で地域経済の活性化を図										
よって成し 遂げたい	る。												
状態)													
3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移													
				活動指標	単位	R3	R4	R5					
				アンケート	件		1	1					
活動実績													
(R5年度に	高校生への	アンケートを実	に施した。										
行った主な活 動内容)				事業費計	千円	0	983	1,841					
#J/ 3 C /				一般財源	千円		983	1,841	ĺ				
				特定財源(国·県·他)	千円								
				(うち受益者負担)	千円								
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する	数値デー	タの推移			↓選択して	下さい			
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較			
+L == H = H				起業届出件数	件	98	166	102	値が大きいほど良い	効果が下がった			
効果説明 (定量及び	起类居虫 //	上米7/+100/生	前後を維持している。										
定性)	起来油山下	TEXIGIOUTI	された。では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに										
,													
(5)費用	用対効果結果	果(自動判定	E)										
費用(R5	とR4の一般	財源増減)	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断				効果					
効果	効果が上が		0指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった				
(R5とR4の	効果は変わめ	らない指標数	0指標 1指標		費	費用は下がった							
指標值増減)	X))**/)* 1 / J	指標全体	→ 1担保 効果が下がった		用	費用が増加した							
4. 次年度に向けた検討 (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題 高校から採用希望のある企業のデジタルマップを求める意見があった。													
(2) F≣	7.反省占及7	が課題を踏まる	えた、令和6年度及び令和7年度の取組										
(८ / 上司	1人日二人(プログスタン のできる		取組説明	7								
_	事業効果を	上げるための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討			=1+/=/	. 7						
)事務改善の検討	正美のナンタルマッノの作成に 	ノい(検	する行う(ん	10.	□ 事業費の見直し検討 企業のデジタルマップの作成について検討を行っている。 □ 業務時間効率化のための事務改善の検討					

産業振興	運動車車	: 丰必:							
			—f	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
報		9					1		(11)
		マーツ部 アー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		マケ					
		夕 称		1711					
				車業					
						300			_
			実施要領	7 731-5	小、」十 及		于未乃及	1.014	加压于未
況要と目的及 美概要			献したと認められる市外の企業を	表彰す	ることによって	て、本市の流	産業の発展	に寄与する	ことを目的
に佐野市と	佐野市工業扱	長興対策協議会との共催事業として表彰式	た開催する。						
]			(3)目標値						
			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
			表彰企業数	社	-	8	8		
佐野市企業	との取引を 意	識してもらう。							
3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移									
			活動指標	単位	R3	R4	R5		
					_	20	21		
			公\$八多加百数		_	29	21		
A10.6 F-4		ナ ル (c)(c)(元+) へ ル ナ 女/				R3 R4 R5 - 29 21 134 0 137 134 0 137			
令和6年1	.月24日 月	至美振興貝献企業表彰式開催	事業費計	千円	134	0	137		
			5 1 1 5 1 2 1						
					134	0	137		
			(55受益者負担)	十円					
かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	な値デー?	タの推移			↓選択して	下さい
			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
			表彰企業数	社	-	8	8		
表彰企業数	なは構ばいであ	oa.							
2017 222102									
			1		ı				Ī
			※10万円以上の増減により判断			*********		*###T#-+	
効果は変わり	うない指標数			弗	費用は下がった	※ 対策が上がつに	効果は変わらない	効果か下かつに	
効果が下が	った指標数	0指標			費用の増減無し				
	指標至体	効果は変わらない		/13	費用が増加した		()		
4. 次年度に向けた検討 (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題 特になし									
1万少占エスァ	だ言甲早百 たり水士 =	た 今和6年度なび今和7年度の取り							
以国以区	・赤咫と頃まん	い、 7410 平皮及び741 / 平皮の取組	₽∇約日≣党8日						
事業効果を 事業費の見	上げるための! 直し検討	事務改善の検討	4以前は近いけ	<u> </u>					
	部課係体基政施 医芸概 市に 佐 原の実 令 に 表 対常の対効効 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に	部 産業文化スパ 産業 政策保 産業 政策保 体系コード 111 基本目標 1 1 政策 加策 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	部 産業文化スポーツ部 課 産業政策課 係 産業政策保 体系コード 111 名称 基本目標 1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり 政策 1 企業誘致を促進止産業振興で活力あるまちづくり 施策 1 治力ある商業・鉱工業の振興 理と目的及び(基本計画期間内)目標値 概要 市内で製造業を営む企業との取引を通じて、本市の産業振興に費に に佐野市と佐野市工業振興対策協議会との共催事業として表彰す 佐野市企業との取引を意識してもらう。 おの実績(活動及び費用対効果)説明 実績 令和6年1月24日 産業振興貢献企業表彰式開催 おによる効果 表彰企業数は横ばいである。 は対効果結果(自動判定) になる効果 表彰企業数は横ばいである。 は対効果が上がった指標数 効果が上がった指標数 効果が上がった指標数 効果が上がった指標数 効果が上がった指標数 効果が上がった指標数 効果が上がった指標数 効果が上がった指標数 効果が上がった指標数 効果は変わらない指標を体 効果は変わらない。 お標準全体 効果は変わらない ま様全体 効果は変わらない ま様では、対象は変わらない またに向けた検討 また、令和6年度及び令和7年度の取組 事業の在り方検討(係止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事業効果を上げるための事務改善の検討	課 産業文化スポーツ部 子質中事業名		## 第 東京 文化スポーツ部	##	## 第 重要文化人ボーツ部	### 企業の企業

什事の振り返りシート(令和5年度実施分) 作成•更新日 令和6年8月5日 事業名 信用保証料補給支援事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 実施計画事業or一般事業 実施計画事業 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報 産業文化スポーツ部 一般 事業計画 単年度繰り返し 部 予算中事業名 会計 担当組織 継続事業 課 産業政策課 予算 款 7 新規or継続 信用保証料補給支援事業 係 産業政策係 科目 項 市単独or国県補助 市単独事業 体系コード 名称 根拠法令、条例等 2 義務or任意 任意的事業 111 目 事業 基本目標 1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり 開始年度 昭和52年度 実施方法 直営 政策体系 佐野市中小企業及び小規模 期間 融資・貸与事業 政策 1 企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり 終了年度 事業分類 企業振興条例施行規則 外 施策 1 活力ある商業・鉱工業の振興 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要 市内中小企業者が市の制度融資を利用する際、信用保証料の補助を行っている。 事業概要 ・制度融資利用にかかる信用保証料の3分の2の額を補助する。 (2)目的 (3)目標値 効果指標 単位 R3 R4 R5 R6 R7 目的 補助件数/市制度融資利用件数 % 100 100 100 100 100 (本事業に 市内中小企業者の事業資金の借入を容易にし、事業資金調達コ よって成し ストを減らす。 遂げたい 状態) 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (1) 洋動宝繕 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(エ) /白男	加夫順	(2) 心動で武功する妖胆力	一 · 万 / 又 (学未見の	性1 夕	
		活動指標	単位	R3	R4	R5
		補助件数	件	110	130	218
ンズチレウルキ						
活動実績 (R5年度に	・制度融資利用にかかる信用保証料の3分の2の額を補助した。					
・ 行った主な活 動内容)	·補助件数 218件 16,089,893円	事業費計	千円	0	7,133	16,090
到四台)		一般財源	千円		7,133	16,090
		特定財源(国·県·他)	千円		0	0
		(うち受益者負担)	千円		0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

	 前年度は、事業所等新型コロナウイルス感染症緊急景気対策事	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
	業の緊急景気対策資金(信用保証料全額補助・利子全額補	補助件数/市制度融資利用件数	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない
	まの系 忌 京							
•	今年度は前年度に比べて景気が回復した結果、本事業の利用が							
•								
	増加した。							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

Ho 《日言兴 □日

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した		\circ	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなり、前年度に比べて景気が回復した結果、事業所等新型コロナウイルス感染症緊急景気対策事業の緊急景気対策資金(信用保証料全額補助・利子全額補助)の利用が減少し、本事業の利用が増加した。しかし、原油高・物価高騰等により、市内中小企業者を取り巻く情勢は依然として厳しい状況にあることや、金融機関からは引き続き利用しやすい制度の見直しの要望があることを踏まえ、経済情勢に合わせて融資制度の見直しを行う必要がある。

(2)上記反省点及	ひ課題を踏まえた、	令相6年度及び	令相 /	′年度の取組
-----------	-----------	---------	------	--------

	4X利益元4万	
□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)		
☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討		
□ 事業費の見直し検討	経済情勢に合わせて制度融資	の見直しを行う必要がある。
□ 業務時間効率化のための事務改善の検討		
□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)	1	

作成・更新日 2024年6月28日

工士	江争の派り返りノート(市和34及天旭刀)										
事業名	中小企業	美設備導入		実施計画事業or一般事業	—,	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり	
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
1. 基本情								1			
		産業文化スプ	ドーツ部	予算中事業名		会計	一般事業計画			度のみ	
担当組織	PT.	産業政策課 産業政策係				款		新規or継続		事業 生	
	係 体系コード	<u> </u>	名称	根拠法令、条例等	竹田	項 目		市単独or国県補助 義務or任意		5年来 内事業	
	基本目標		無力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	低拠法力、未例等	事業	開始年度		実施方法	直		
政策体系	- 1 - 13	_	/C/ 543 6/E/ 4//2(17 14 17 14 17 14 17 14 17 14 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	 中小企業等経営強化法		終了年度	П30			-	
	政策 施策		企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり 活力ある商業・鉱工業の振興	十八年来分析日本10万	처비미	於」平及		事業分類	市工的公司。1	針旦尹份	
	NEW .	1	加力のの同来・ <u>郷工来の派</u> 典								
2. 事業 概 (1)事業		なび(基本計	画期間内)目標値								
事業概要	中小企業等	穿経営強化法	上に資する設備の導入を促進し、産業振興 に基づき、導入促進基本計画を作成し、[)あった先端設備等導入促進計画について	国の同意を得る。							
(a) $\Box \phi$	(2) 日悔										
(2)目的	צ			(3)目標値 効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	D7	
目的				対条指標 市内の商業者数	店	K3	1445	1329	_	R7	
(本事業に			画で認定された設備等の固定資産税	市内の製造業者数(4人超)	<u>冶</u> 社		413	389			
よって成し			テうことで、中小企業の生産性の向上に 資	177 30 及追来自然(47人追)	111		713	303			
遂げたい 状態)	する設備の	導入を促進す	る。								
1八記)											
3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (1)活動実績 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移											
				活動指標	単位	R3	R4	R5			
				先端設備等導入計画の認定	件	13	22	25			
					- ' '				•		
活動実績	市内の事業者から申請のあった先端設備等導入促進計画につい										
行った主な活	て、認定を行	うった。		事業費計	千円	0	0	0			
動内容)				一般財源	千円	0	0	0			
				12.1.1.1		U	U	U			
				特定財源(国・県・他)	千円						
				(うち受益者負担)	千円						
(2) 75				/ 4 \	· /-±"	5 0 14 TA		I	1 755721 -	- -	
(3)活里	かによる効果			(4)事業効果を説明する数			D.4	DE	↓選択して		
				効果指標市内の商業者数	単位店	R3	R4 1445	R5	指標の性質 値が大きいほど良い	84とR5の比較 効果が下がった	
効果説明				市内の製造業者数(4人超)	社		413			効果が下がった	
(定量及び	事業所数は	は減少傾向にな	ある。	177 30 及追来自然(47人追)	111		713	309	ES YCC VIOCEX	MARI 1 13 SIC	
定性)											
/r\ #==		T /台科加土	7)					•			
	対効果結果 とR4の一般	果(自動判定 財源増減)	費用の増減無し	7 ※10万円以上の増減により判断		ĺ		効果		Ì	
	効果が上が		り指標 0指標	※ 1 0 万円以上の垣城により刊倒			効果が上がった		効果が下がった		
効果	効果は変われ	らない指標数	0指標		費	費用は下がった	7,371.00 == 70 710		7,5514,0 1 70 270		
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	った指標数 指標全体	<u>2指標</u> 効果が下がった		用	費用の増減無し			0		
		旧伝土件	刈木が下が力に			員用が培加した				l .	
	ぎに向けた検 15年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用が	対効果[句上のための)課題				
(2) 上記	尼反省点及び	/課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組		_						
				取組説明							
	事業効果を 事業費の見	上げるための 直し検討	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 シ事務改善の検討								
	木小可凹沟	/J -7:: L ∨ / I C Ø) ().	ノナック以口グスロゴ	1							

事業名	中小企業	を できまる とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	済制度加入促進事業	実施計画事業or一般事業		般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当か		
P未 1	一十つ、正メ	K 企 帆 亚 ス	仍则及加入促進于未	施策横断的な取組との関連性			コンパクトシティ		スマートシティ	該当な		
. 基本				旭米領質的な双組との民産に	SDGS	政当ない	אלכולאכב	以当るし	A(12)1	欧田は		
	部	産業文化スプ	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	投事業計画 単年度		繰り返し		
当組織	課	産業政策課		中小企業退職金共済制度	予算			新規or継続	継続	事業		
	係	産業政策係		加入促進事業	科目		1	市単独or国県補助	市単独	由事業		
	体系コード	111	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的	り事業		
L 65 11 T	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市中小企業	事業	開始年度	S53	実施方法	直	営		
文策体系	政策		企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり	退職金共済制度加入促進		終了年度	-	事業分類	支援	事業		
	施策		活力ある商業・鉱工業の振興	補助金交付要綱		173 172		3 2023700	-	3 214		
2. 事業 (1)事 事業概要	業概要 中小企業追	 退職金共済法	画期間内)目標値 に基づく、「中小企業退職金共済制度」に	加入した事業所に対し、共済掛	金の一	部を補助す	ることにより	、加入促進	と従業員の)福祉増		
	進、雇用の安定を図る。											
(2)目的	内			(3)目標値	11//:							
目的				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7		
日的 (本事業に	++*+	· △ ₩ ㄲ • シンン :	##= <i> -</i> +1 + + + + + + + + + + + + + + + + + +	加入事業所数	社			380	439	42		
よって成し		-		加入従業員数	人			3300	3400	3500		
遂げたい	しって により、	加入促進と	芷業員の福祉増進、雇用の安定を図る。									
状態)												
B. 前年 原 (1)活動		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	が事業費の持	佳移					
				活動指標	単位	R3	R4	R5				
				新規加入者の事業所数	社	114	136	125				
				新規加入従業員数	人	378	536					
活動実績	由小企業組	1 学人 计 文	度に加入している事業所で新規加入従	机机加入促来良效		3/6	330	343				
R5年度に	一一,1,1下米		、申請書を送付(1月)⇒申請書提出									
った主な活			交付(3月)。	事業費計	千円	0	1,952	2,137				
動内容)	(2/)) , IUD7/775	213 (3/1) 0	一般財源	千円	0	1,952	2,137				
						_		-				
				特定財源(国・県・他)	千円	0	0	0				
				(うち受益者負担)	千円	0	0	0				
(2) 汗ョ	<u></u>			(4) 事業効果を説明する数	がご	なの世段		•	↓選択して	- K + ()		
(3)/白9	別による効果			効果指標	単位	R3	R4	R5	→ 選がして			
				加入事業所数	社	376	375		値が大きいほど良い	効果が下がっ		
効果説明	加入事業所	所数は2件の	咸少がみられたが、加入従業員数は増加	加入従業員数	人	3,141	3,202			効果が上がっ		
(定量及び			がある。	加八瓜未央奴		3,111	3,202	3,203		7737140		
定性)	174, 37-27 3											
/ r \ ===		A / 凸毛5001子	7)									
	判対効果結果 SとR4の一般	果(自動判定 財源機能)		V 1 O TITUL LAHASHI LINUMIN		ĺ		効果				
	効果が上が		費用が増加した 1指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			
効果	効果は変わ	らない指標数	0指標		費	費用は下がった	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
(R5とR4の 旨標値増減)	効果が下が		1指標		用	費用の増減無し						
1. 次年	 宴に向けた検 和 5 年度の事		効果は変わらない ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用な		南上のための)課題					
		//	-									
`a\			7 - /~+U 6 /- IH 15/1/~+U 7 /- IH // HISH									
2) 上語	記反省点及で	/誄越を始ま/	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	野☆糸円≣☆R日								

取組説明

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

補助制度の周知に引き続き取り組み、さらに多くの中小企業者に取り組んでもらうように働きかける。

事業効果を上げるための事務改善の検討

業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

事業費の見直し検討

令和6年7月31日 作成•更新日 事業名 中小企業倒産防止共済制度加入促進支援事業 該当なし 総合戦略 該当なし -般事業 実施計画事業or一般事業 市長公約 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当なし コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報 産業文化スポーツ部 一般 事業計画 単年度繰り返し 部 予算中事業名 会計 担当組織 課 産業政策課 中小企業倒産防止共済制 予算 款 7 新規or継続 継続事業 係 産業政策係 度加入促進支援事業 科目 項 1 市単独or国県補助 市単独事業 体系コード 名称 根拠法令、条例等 目 2 義務or任意 任意的事業 111 事業 直営 基本目標 1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり 開始年度 S53 実施方法 政策体系 佐野市中小企業振興事業 1 企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり 期間 政策 終了年度 事業分類 支援事業 補助金等交付要綱 施策 1 活力ある商業・鉱工業の振興 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要 中小企業倒産防止共済法に基づき、独立行政法人中小企業基盤整備機構と共済契約を新たに締結した方のうち、掛金を6か月以上もしくは掛金月額6か月分 事業概要 に相当する額以上を積み立てた方で、1年分の納付実績と契約から1年を確認できた方を対象として、共済掛金の一部補助を行うことで、制度への加入促進を図 る。積立額の20/100 (最大月額80千円、12か月分)を補助。 (2)目的 (3)目標値 効果指標 単位 R3 R4 R5 R6 R7 目的 市内事業所数 所 6,236 6,236 5,884 5,884 5,884 (本事業に 市内中小企業者に補助金を交付し、制度加入を促進することで、 よって成し 連鎖倒産を未然に防ぐ。 遂げたい 状態) 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (1)活動実績 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移 単位 活動指標 R3 R4 **R5** 補助金交付回数 5 1 補助金交付件数 5 件 1 4 活動実績 令和5年度は補助金の申請がなかったが、広報さのに記事を掲載 (R5年度に する等して制度の周知をはかった。 行った主な活 事業費計 0 千円 192 768 動内容) 一般財源 192 768 0 千円 千円 特定財源(国·県·他) (うち受益者負担) 千円 (4) 事業効果を説明する数値データの推移 ↓選択して下さい (3)活動による効果 効果指標 指標の性質 R4とR5の比較 単位 R3 R4 R5 市内事業所数 所 6,236 5,884 5,884 値が大きいほど良い 効果は変わらない 効果説明 令和5年度は補助金の申請がなかったが、制度周知の結果、申請 (定量及び 条件等に関する問い合わせがあった。 定性) (5)費用対効果結果(自動判定) 費用(R5とR4の一般財源増減) 費用は下がった 効果 ※10万円以上の増減により判断 効果が上がった指標数 0指標 効果が上がった 効果は変わらない 効果が下がった 効果 効果は変わらない指標数 費用は下がった 費 (R5とR4の 効果が下がった指標数 費用の増減無し 指標値増減) 用 効果は変わらない 指標全体 費用が増加した 4. 次年度に向けた検討 (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題 制度の周知を継続する。 (2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組 取組説明 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

仕事	の振り)返りシ	ート(令和5年度	実施分)			作	成・更新日	2024年	6月28日
事業名	働きやす	い職場づく	り啓発事業	実施計画事業or一般事業	実施	計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
	I.			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情		キザナルフ +	2 with	予算中事業名		Λ=1	фЛ	±*=1=	光左 库:	作いた
担当組織	部課	産業文化スポ	ハーツ市	サ昇甲事業名 働きやすい職場づくり啓発事	予算	会計款	一般 事業計画 5 新規のr継続		単年度繰り返し 継続事業	
	係	産業政策係		業		項	1	市単独or国県補助		虫事業
	体系コード	111	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意		り事業
政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業	開始年度	H14~	実施方法	直	営
	政策	1	企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり		期間	終了年度		事業分類	イベント等	開催事業
	施策	1	活力ある商業・鉱工業の振興]					
2. 事業概 (1)事第		とび (基本計	画期間内)目標値							
事業概要	働きやすい	哉場環境づくり	の意識啓発や職場の環境改善を進めるう	えでの諸制度の周知を行い、市	内企業	の人材確保	や従業員の	の職場定着	等を図る。	
(2)目的	ሳ			(3)目標値						
□ 6/1				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的 (本事業に	ほうかさい	並もつごとの心味	キロボロギ したロミか 333 4日ナナ・テナ・ハ・・ ニキル・40	参加企業数	社	28	22	31		
よって成し		蔵場 ろりの情 職場環境の改	報収集と知識習得をしてもらい、就労機							
遂げたい	ZOMENC.	(0,000-10,000)	(E c c c o o							
状態)										
3. 前年 度 (1)活動		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	* <i>5</i> 757	で事業のも	世 4夕			
(1) /11	夫棋			活動指標	単位	R3	R4	R5	[
\T 				研修会等開催数		1	1	1		
	・市内事業所を対象に懇談会を開催。 開催日:令和5年11月21日									
活動実績 (R5年度に										
行った主な活			ー賃金及び男性育児休業について」 *###センター	事業費計	千円	0	14	0	[
動内容)	講師:栃木働き方改革推進センター				千円		14	0	l l	
							17			
				特定財源(国・県・他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円				ĺ	
(3)活動	めによる効果			(4)事業効果を説明する数	な値デー	タの推移			↓選択して	こ下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
动甲道明	 前年に比べ	て多くの企業が	がセミナーに参加したことで、働きやすい職	参加企業数	社	28	22	31	値が大きいほど良い	効果が上がった
の定量及び			や職場の環境改善を進めるうえでの諸制							
定性)	度の周知を	図ることができ	た。							
									<u> </u>	<u> </u>
,		果(自動判定	,	The second secon				****		İ
20,12 (1.10	とR4の一般 I効果が上が	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	費用の増減無し 1指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
効果 (R5とR4の	効果は変わ	らない指標数	0指標		費	費用は下がった			7,511.0 1 70 210	
指標值增減)	効果が下が	った指標数 指標全体	<u>0指標</u> 効果が上がった		用	費用の増減無し	0			}
(1) 令和		事業実施におい	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 検討していく必要がある。	見等を踏まえた検討課題、費用対	対効果向	可上のための)課題			
(2) 上訂	こ反省点及で	/課題を踏まえ	また、令和6年度及び令和7年度の取組							
· —-				取組説明						
			、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討							

仕事	の振り	ル区リン	/ ート(令和 5 年度	美施分)			作別	成・更新日	2024年	6月28日		
事業名	栃木県産	産業振興セ	ンター情報会員参画事業	実施計画事業or一般事業	— <u></u> j	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし		
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし		
1. 基本情	青報 部	産業文化スポ	\$	予算中事業名		会計	<u>ტ</u> л	事業計画	単年度組	緑り近1.		
担当組織	課	産業政策課			予算	款		新規or継続	継続			
	係	産業政策係		産業振興センター情報会員参	科目	項		市単独or国県補助	市単独			
	体系コード	111	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的			
政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業	開始年度	H18	実施方法	直'	営		
以來來示	政策	1	企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり		期間	終了年度		事業分類	参画	事業		
	施策	1	活力ある商業・鉱工業の振興									
2. 事業 概 (1)事業		ひ(基本計	画期間内)目標値									
	センター情報会員になることにより、センター主催の会議や研修会への参加や、経営基盤の強化、技術高度化に関する情報収集や意見交換を行っている。											
(2)目的												
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7		
目的 (本事業に				情報誌「産業情報とちぎ」		6	6	6				
	ものづくりにつ	ついての他市の)状況や最新情報を得る。									
遂げたい												
状態)												
	3. 前年度の実績 (活動及び費用対効果) 説明 (1) 活動実績 (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移											
				活動指標	単位	R3	R4	R5				
活動実績	(市の活動)			加入市町数	市町	16	16	16				
			関センター情報会員として負担金	会議出席回数		0	0	0				
	(10,500円)を支出した。 ((公財) 栃木県産業振興センターの活動)			五 版四川口外			-					
(R5年度に												
行った主な活動内容)	•		ぎ」を発行し、会員に配布し情報提供をす	事業費計	千円	11	11	11				
±311111	る。			一般財源	千円	11	11	11				
	技術交流、	人材育成、技	5術相談、経営相談等を実施する。	特定財源(国·県·他)	千円							
				(うち受益者負担)	千円							
				(万)交血日兴三/	113							
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数					↓選択して	_		
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質			
効果説明				情報誌「産業情報とちぎ」	□	6	6	6	値が大きいほど良い	効果は変わらない		
(定量及び	産業情報と	さぎによる情報	最収集を行った。									
定性)												
(5)費田	日対効里結馬	果(自動判定	2)									
,	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果				
	効果が上が	った指標数	0指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			
パノス (R5とR4の		らない指標数 った指標数	1指標 		費	費用は下がった		0				
指標値増減)	79321<13 1 13	指標全体	効果は変わらない		用	費用が増加した						
	きに向けた検 ①5年度の引		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用ダ	对効果「	句上のための)課題					
(2) 上記	2反省点及7	が課題を踏ま え	た、令和6年度及び令和7年度の取組									
\-/ <u>_</u> _		~ PUNCT CTION		取組説明								
	事業効果を 事業費の見	上げるための! 直し検討	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討)事務改善の検討	erromaner (d								

事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

事業名 栃木県中小企業団体中央会参画事業 -般事業 該当なし 総合戦略 該当なし 実施計画事業or一般事業 市長公約 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当なし コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報 産業文化スポーツ部 一般 事業計画 単年度繰り返し 部 予算中事業名 会計 担当組織 課 産業政策課 栃木県中小企業団体中央 予算 款 7 新規or継続 継続事業 係 産業政策係 会参画事業 科目 項 1 市単独or国県補助 市単独事業 体系コード 名称 根拠法令、条例等 目 2 義務or任意 任意的事業 111 事業 直営 基本目標 1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり 開始年度 S31 実施方法 政策体系 中小企業団体の組織に関す 期間 参画事業 政策 1 企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり 終了年度 事業分類 る法律 施策 1 活力ある商業・鉱工業の振興 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要 栃木県中小企業団体中央会が行う活動に参画することで、同会が所有する技術・情報提供を受け、中小企業の経営安定に資することを目的とする。同会の主な 事業概要 事業活動は、組合等の設立支援、新事業創出支援、経営革新の支援、後継者人材等育成支援、技術高度化・経営品質向上支援、各種情報提供など。 (2)目的 (3)目標値 効果指標 単位 R3 R4 R5 R6 R7 目的 市内会員数/県内会員数 % 6.2 6.0 6.0 6.1 (本事業に 市内の商工業者(組合)に対し、財政的に支援することで、佐野 よって成し 商工会議所の事業充実・運営の円滑化・会員数増加が図られる。 遂げたい 状態) 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (1)活動実績 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移 単位 活動指標 R3 R4 **R5** 負担金支出回数 1 1 1 1 ・負担金として、133千円を支出。 活動実績 ・例年実施の栃木県中小企業団体中央会組織化推進連携会議 (R5年度に 行った主な活は、中央会職員が各自治体を訪問し、情報交換を行う形式に変 事業費計 千円 150 133 133 動内容) 更された。 一般財源 150 133 千円 133 特定財源(国・県・他) 千円 (うち受益者負担) 千円 (4) 事業効果を説明する数値データの推移 ↓選択して下さい (3)活動による効果 指標の性質 R4とR5の比較 効果指標 単位 R3 R4 R5 市内会員数/県内会員数 % 5.9 値が大きいほど良い 効果が上がった 6.0 6.1 効果説明 (定量及び 横ばいではあるが、市内会員数は維持している。 定性) (5)費用対効果結果(自動判定) 費用(R5とR4の一般財源増減) 費用の増減無し 効果 ※10万円以上の増減により判断 効果が上がった指標数 1指標 効果が上がった 効果は変わらない 効果が下がった 効果 効果は変わらない指標数 費用は下がった 費 (R5とR4の 効果が下がった指標数 費用の増減無し 指標値増減) 用 効果が上がった 指標全体 費用が増加した 4. 次年度に向けた検討 (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題 本事業への参画を継続する。 (2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組 取組説明 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事業効果を上げるための事務改善の検討

177	エチの派力をプレート(15/119 千/文人/16/27)									
事業名	物価高脂	等緊急	景気対策事業	実施計画事業or一般事業	— <u>,</u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情										
	部	産業文化ス		予算中事業名		会計		事業計画		度のみ
担当組織	課	産業政策課		物価高騰等緊急景気対策事		款		新規or継続		事業
	係	産業政策係		業	科目	項		市単独or国県補助		助事業
	体系コード	111		根拠法令、条例等	=₩	目		義務or任意		的事業 [営
政策体系	基本目標		魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市プレミアム付商品券実		開始年度終了年度	-	実施方法	_	事業
	政策 施策		企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり 活力ある商業・鉱工業の振興	行委員会交付金交付要領	州川山	於」平及	-	事業分類	又扱	尹未
(1)事第	既要と目的及 美概要		・ 画期間内)目標値 けている市内事業者の支援のため、経済対	策を実施する。						
(2)目的	1			(3)目標値						·
(2) 🔐	ני			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				商品券取扱店舗数	店舗	1.0	101	550		10
(本事業に	エネルギー語	高・物価高の影	影響を受ける市内の中小店舗等を利用し	キャッシュレスキャンペーン参加店舗数	店舗			1,200		
よって成し 遂げたい	てもらうことに	こより、地域経	経済の活性化を図る。					,		
状態)										
ŕ										
3. 前年度の実績 (活動及び費用対効果) 説明 (1)活動実績 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移										
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
	市としては、	プレミアム付き	商品券実行委員会に交付金156,514千	実行委員会開催回数				2		
	円を交付し	た。								
活動実績										
(R5年度に	実行委員会	きとしては、9/	20~1/31まで利用できるプレミアム率							
	30%の紙商品券25,000セット(1セット13,000円分を10,000			事業費計	千円	0	0	156,514		
動内容)			キャッシュレスポイント還元キャンペーン		千円			16,954		
			Pay、楽天ペイ)を10/1~10/31、2/1							
	\sim 3/1502	2回実施した。		特定財源(国・県・他)	千円			139,560		
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	がイング かんしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょ かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう はいましょう はいましょう かいしょう かいしょう かいしょう はいましょう はいまい しゅう しゅう はいましょう はいましょう はいまい しゅう はいまい しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	タの推移	•		↓選択して	て下さい
(3) /山玉	71CW 87/17K			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
		 . »		商品券取扱店舗数	店舗	113	101	_	値が大きいほど良い	効果が上がった
			漬となった。商品券取扱店舗向け・キャッ	キャッシュレスキャンペーン参加店舗数	店舗				値が大きいほど良い	効果が上がった
`			店舗向けそれぞれに実施したアンケートで					,		
定性)	は、凹合かる	めつに占舗のこ	うち、2割は売り上げが上がったと回答した。							
(5) 毒日	□──── □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	果(自動判定								
	とR4の一般		費用が増加した	- ※10万円以上の増減により判断				効果		ſ
	効果が上が		2指標	エ マッショック・エッテーロル外になりで可可			効果が上がった		効果が下がった	ŀ
効果 (R5とR4の	効果は変わ	らない指標数	0指標		費	費用は下がった				ļ
指標值増減)	効果が下が	つに指信数 指標全体	<u>0指標</u> 効果が上がった		用	費用の増減無し	$\overline{}$			ļ
	をに向けた検 15年度の事	調寸	ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用対	対効果に	う上のための	課題			
(2)上語	尼反省点及び	が課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明						
	□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) □ 事業効果を上げるための事務改善の検討 □ 事業費の見直し検討 □ 業務時間効率化のための事務改善の検討 □ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)									

仕事の振り返りシート(令和5年度実施分)

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

作成•更新日 令和6年8月8日

.— 5										
事業名	陸砂利抗	采石監視員	事務	実施計画事業or一般事業	— ј	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
7 7/17				施策横断的な取組との関連性			コンパクトシティ			該当なし
1. 基本情	青報							ı		
	部	産業文化スプ	ポーツ	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度組	
担当組織	課	産業政策課		 	予算	款		新規or継続	継続	
	係	産業政策係			科目	項		市単独or国県補助	国県補	
	体系コード	111	名 称	根拠法令、条例等	vii/	目		義務or任意	義務的	
政策体系	基本目標		魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	157-14 TATALSTE-14		開始年度		実施方法	直'	
	政策	_	企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり	採石法、砂利採取法	期間	終了年度	_	事業分類	検査・調	
	施策	1	活力ある商業・鉱工業の振興							
2. 事業 概 (1)事業		及び(基本計	画期間内)目標値							
事業概要	監視員2名	を任命し、市	内の採石場を定期的に巡視している。監視	見の報酬支払い、監視状況日	誌等点	検し、違反	行為に関す	「る情報の心	双集を行う。	
(2)目的	ካ			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	R先な小手は57.7	重学老に対	して、監視員が砂利採取法及び採石法の	違反行為のあった事業所数	事業所		0	0	0	0
(本事業に よって成し			して、監視員が砂利採取法及び採石法の 記視並びに当該行為に関する情報を収集							
遂げたい		為がないか、常								
状態)	U()E/X 1)	רוייססי נונייי	PICE IN SO							
3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移										
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
					人	2	2	2		
	E6+0 = +0+		_	m /L A W					1	
活動実績		州を支出を行っ								
(R5年度に		は話等の点検	し、違反行為等に関する情報の収集を							
行った主な活	行った。	⊥ਲ ਲ≡ਗਰਾਂ	iter Kookin Takanak	事業費計	千円	0	1,899	2,072		
動内容)	砂利採取記		請に係る補正・確認のために現地調査を	一般財源	千円	0	0	0		
	がたため	小宗と夫他のた。		12.00		_			-	
				特定財源(国・県・他)	千円	0	1,899	2,072		
				(うち受益者負担)	千円	0	0	0		
(2) 江西	かによる効果				· (古二)	カの批技		Į.	・ ↓選択して	-
(3)/白男	川による対土			効果指標	単位	R3	R4	R5	→ 選択して	
				違反行為のあった事業所数	事業所	0	0			効果は変わらない
効果説明	·+ - /- *		//	(上) (1 小点のの) がに手来 (/ 1 女人	3 2/0//1	J				
(定量及び 定性)	遅 反行為[当数をU件で維	掛することができた。							
足压)										
(5)費用	対効果結果	果(自動判定	E)							
	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果		った指標数	0指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
//J/へ (R5とR4の		らない指標数 った指標数	1指標 0指標		費	費用は下がった		0		
指標值増減)	X)X() /)	指標全体	効果は変わらない		用	費用が増加した				
_	をに向けた検 15年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用:	対効果に	句上のための)課題			
なし。										
(2) ⊢≕	ロロタドなっ	/ 『三田 早百 た ワ水 ナ =	えた、令和6年度及び令和7年度の取組							
(2)上記	以目识区() 味恩で頃ま/	心、 7410半点火い741/平点の拟組	取組説明]					
	事業の存り	方検討 (廃止	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	4人が止った 4万	<u> </u>					
	事業効果を	上げるための	事務改善の検討	76101 EMB 1 - 772 :	<i>-'</i>	\ _\ + 	, 	v EF+0 + ////	v±-+->	
	□ 事業費の見直し検討 これからも監視員との円滑なコミュニケーションを図り、事業所の監視を継続する。 これからも監視員との円滑なコミュニケーションを図り、事業所の監視を継続する。									

事業費の見直し検討

業務時間効率化のための事務改善の検討

特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

事業名 両毛地区勤労者福祉共済会参画事業 該当なし 総合戦略 該当なし 実施計画事業 実施計画事業or一般事業 市長公約 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報 産業文化スポーツ部 一般 事業計画 単年度繰り返し 部 予算中事業名 会計 担当組織 課 産業政策課 予算 款 5 新規or継続 継続事業 地区勤労者福祉共済会参画 係 産業政策係 科目 項 1 市単独or国県補助 市単独事業 体系コード 名称 根拠法令、条例等 目 1 義務or任意 任意的事業 111 事業 直営 基本目標 1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり 開始年度 H4 実施方法 政策体系 期間 参画事業 政策 1 企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり 終了年度 事業分類 施策 1 活力ある商業・鉱工業の振興 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要 佐野市・足利市の出資により発足した(一財)両毛地区勤労者福祉共済会を通して勤労者のための総合的な福祉事業を行い、雇用の安定と企業の振興に寄 事業概要 与する。 (2)目的 (3)目標値 効果指標 単位 R3 R4 R5 R6 R7 目的 加入事業所数 社 1,025 860 1,025 (本事業に 勤労者の福利厚生に要する費用負担ができない事業者に対し、少 加入会員数 11,080 9,828 11,080 よって成し ない負担で福利厚生を受けられるようにする。 遂げたい 状態) 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (1)活動実績 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移 単位 活動指標 R3 R4 **R5** 加入啓発活動数 1 1 1 (一財) 両毛地区勤労者福祉共済会に負担金の支出を行った。 (4月) 活動実績 各種会議に出席し、実施事業への協力を行った。(理事会、幹事 (R5年度に 会) 行った主な活 事業費計 千円 9,748 9,701 9,701 加入事業所や会員数を増やすための周知を行った。 動内容) 【参考】(一財)両毛地区勤労者福祉共済会の活動 一般財源 9,748 9,701 9,701 千円 会議、広報宣伝事業、文化教養健康事業、余暇活動事業ほか 特定財源(国・県・他) 千円 (うち受益者負担) 千円 (4) 事業効果を説明する数値データの推移 ↓選択して下さい (3)活動による効果 効果指標 指標の性質 R4とR5の比較 単位 R3 R4 R5 加入事業所数 汁 904 885 値が大きいほど良い 効果が下がった 860 効果説明 退職等による会員数は減ってはいるが、市内の勤労者へ少ない負 10,236 9,828 値が大きいほど良い 加入会員数 9,867 効果が下がった (定量及び 担で福利厚生を提供できている。 定性) (5)費用対効果結果(自動判定) 費用(R5とR4の一般財源増減) 費用の増減無し 効果 ※10万円以上の増減により判断 効果が上がった指標数 0指標 効果が上がった 効果は変わらない 効果が下がった 効果 効果は変わらない指標数 費用は下がった 費 (R5とR4の 効果が下がった指標数 費用の増減無し 指標値増減) 用 指標全体 効果が下がった 費用が増加した 4. 次年度に向けた検討 (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題 中小企業、就労者の福利厚生を充実させるために市内事業者への積極的な勧誘活動を引き続き行っていく。 (2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組 取組説明 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事業効果を上げるための事務改善の検討

仕事の振り返りシート(令和5年度実施分)

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

作成・更新日 2024年6月28日

工一	. 中の派の医のグート(同相の中及天地の)										
事業名	葛生産第	Ě協会支援		実施計画事業or一般事業	—f	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
L. 基本情	手報 部	産業文化ス	+° ₩±0	マ 質山東		会計		事業計画	出左帝	得いら	
	<u>部</u> 課	産業政策課		予算中事業名	予算	款		争耒計 凹 新規or継続	単年度組 継続		
	<u>係</u>	産業政策係				項		市単独or国県補助	市単独		
	体系コード	111	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	り事業	
攺策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	 -葛生産業協会事業費補助金		開始年度	S53	実施方法	直	営	
	政策		企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり	交付要領	期間	終了年度		事業分類	支援	事業	
	施策	1	活力ある商業・鉱工業の振興								
2. 事業 概 (1)事業		ひび(基本計	画期間内)目標値								
6.圣积;罗			員の安全、福利・厚生等の推進を目的として 健康診断の実施や各種ドックの斡旋、〈ずう		構成し	ている団体で	である葛生産	産業協会を	支援する。		
(2)目的	7			(3)目標値							
(2) Пр	<u>, </u>			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7	
目的				該当企業数	社	40	43	39			
(本事業に よって成し	草 生	協会を支援する	3								
遂げたい	匈工/王来	MA CX 18 9	ο·								
状態)											
3. 前年度 (1)活動		舌動及び費用	3対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の抽	推移		-		
				活動指標	単位	R3	R4	R5			
				有意義な事業の開催数		0	0	1			
	(市の活動										
		協会に補助金									
R5年度に	(曷生産) 会議、研修	美協会の活動 その関係)	本 ##=1	≠ m	2.000	2.000	2.000			
動内容)			(花火は中止)。	事業費計	千円	2,000	2,000	2,000			
	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		(1.57 (1.6) <u>—</u>)	一般財源	千円	2,000	2,000	2,000			
				特定財源(国·県·他)	千円						
				(うち受益者負担)	千円						
(3)活重	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	7値デーク	の推移			↓選択して	下さい	
(3) /山並	1000000			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質		
				該当企業数	社	40	43	39	値が大きいほど良い	効果が下がった	
効果説明 (定量及び	募生産業 協	3会の企業数	は40社前後で推移している。								
定性)	52/1/	// A */ III // A */									
/-\ ###		T / 4 3 1 1 1 1 1	>								
	対効果結果 とR4の一般	果(自動判定 財源増減)	E) 費用の増減無し	7 ※10万円以上の増減により判断				効果			
	効果が上が		0指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
効果 (R5とR4の	効果は変わら	うない指標数	0指標		費	費用は下がった					
旨標值増減)	効果が下が	<u>りに担信数</u> 指標全体	1指標 効果が下がった		用	費用の増減無し					
	をに向けた検] 5 年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	- 見等を踏まえた検討課題、費用ネ	付効果に	可上のための	課題				
寺になし											
(2) 上記	尼反省点及び	グ課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組		ı						
_	市業のたい	᠘ ϟ€┽ ╭ <u>↔</u> ・		取組説明						Т	
		上げるための	:、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討								
□ 業務時間効率化のための事務改善の検討											

作成•更新日 2024年6月28日

- Nº -		- A ! -	T+1_800 MJ == 40	I						· .
事業名	技能検定	E合格者與	彰式開催事業	実施計画事業or一般事業	-	投事業			総合戦略	
L. 基本情	E#0			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
	3年以 部	産業文化ス	ポーツ部	予算中事業名		会計	—船	事業計画	単年度組	經1751,
	<u>即</u> 課	産業政策課			予算	款		新規or継続	継続	
	<u>际</u> 係	産業政策係		能検定合格者顕彰式開催事	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	
	<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>	111	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	
トケケリ デ	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	/	事業	開始年度	S63	実施方法	直	営
改策体系	政策	1	企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり	佐野市技能検定合格者顕彰	期間	終了年度		事業分類	イベント等	開催事業
	施策	1	活力ある商業・鉱工業の振興	実施要領						
(1)事業 事業概要	機要 本市の産業 に合格した	に従事または	画期間内)目標値 は本市に住居を有する技能労働者で、職業の卓越した技能をたたえ、その社会的地位のでで開催する。							
(2)目的	1			(3)目標値						
(2) 🖽	ט			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				対象となる技能検定合格者	人	K3 -	37	29	RO	K/
(本事業に				対象になる政権が決定口信日			37	23		
0.2 0.00	技能者の技	術習得意欲	を増進、技術水準の向上を図る。							
遂げたい 状態)										
177.67)										
3.前年度 (1)活動		舌動及び費用	3対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の担	推移		1	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				顕彰式参加者数	人	_	19	21		
舌動実績										
R5年度に	今和5年1	0日26日	技能検定合格者顕彰式開催							
うった主な活	13/10 5 — 1	. 0/] 2 0 [事業費計	千円	51	272	200		
動内容)				一般財源	千円	51	272	200	ĺ	
						31	2,2	200		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	かによる効果			(4)事業効果を説明する数	値データ	の推移			↓選択して	下さい
, , , , , ,				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
				対象となる技能検定合格者	人	-	37	29	値が大きいほど良い	効果が下がった
効果説明	今和『左 田	Fの会 物文 (+								
(定量及び 定性)	714 3 平均	度の合格者は	似少した。							
X_11_)										
(5)費用	対効果結果	果(自動判定	Ξ)							
費用(R5d	とR4の一般	財源増減)	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が		0指標			I	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果は変わり効果が下が		0指標 1指標		費	費用は下がった				
旨標値増減)	7/J2/C/J /J	指標全体			用	費用が増加した				
	Eに向けた検] 5 年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	2等を踏まえた検討課題、費用文	対効果に	可上のための	課題		_	
(2)上記	2反省点及で	が課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明						
	事業効果を 事業費の見 業務時間交	上げるための 直し検討 か率化のための	:、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 D事務改善の検討 伏維持又は現状の計画通り)							

仕事の振り行う (今和 5 年帝宝坻公)

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

丁争	り抜り	ルベリン	ノート(行和5年段	大地分)			作	灭・史新日	2024年	₹6月28日
業名	佐野市コ	C業振興対	対策協議会支援事業	実施計画事業or一般事業			市長公約		総合戦略	
=	⊧ ±0			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
基本情	部	産業文化スプ		予算中事業名		会計	— 45	事業計画	単年度	
	課	産業政策課		佐野市工業振興対策協議会	予算	款		新規or継続		事業
	係	産業政策係		支援事業	科目	項	1	市単独or国県補助		虫事業
	体系コード	111	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業	
策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	 佐野市工業振興対策協議会		開始年度	S63	実施方法	直	営
	政策		企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり	交付金交付要領	期間	終了年度		事業分類	支援	事業
			活力ある商業・鉱工業の振興 画期間内) 目標値							
業概要	本市におけ	る工業界の連	携を密にし、工業の発展を図るために業種	組合、関係団体を会員として組	織された	佐野市工	業振興対策	協議会の	運営を支援	する。
2)目的	5			(3)目標値						
□ #/n				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的 k事業に				加入業種組合、関係機関	団体	18	18	18		
	本市におけ	る工業界の連	携を密にする。							
遂げたい										
状態)										
. 前年度 1)活動		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ活動指標	ータ及び 単位	「事業費の持 R3	推移 R4	R5	I	
				研修会開催件数	回	1	1	1		
動実績	(市の活動	-,								
到大順 5年度に			議会に交付金を支出。							
た主な活			も協議会の活動) 影式及び産業振興貢献企業賞贈呈式を	事業費計	千円	0	400	500		
协内容)			の以外の性来が発展が止来資格主义で に研修会を開催。	—————————————————————————————————————	千円	0	400	500		
	131E 0 131E	.0 , 0, 325		特定財源(国・県・他)		-	100	300		
					千円					
				(うち受益者負担)	千円					
3)活動	かによる効果			(4)事業効果を説明する数	値データ	りの推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5		R4とR5の比較
果説明				加入業種組合、関係機関	団体	18	18	18	値が大きいほど良い	効果は変わらない
	加入業種組	11合、関係機同	関は横ばいである。							
定性)										
こ) 弗日	コナナナカ田はま	果(自動判定	7)			•				
	とR4の一般		費用が増加した	** 1 0 万円以上の増減により判断				効果		1
	効果が上が		0指標	1 07月 10人工の名前MICS 7 円面			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
効果 R5とR4の	効果は変わり効果が下が	るない指標数	1指標 0指標		費	費用は下がった 費用の増減無し				
標値増減)	<u> хижи, г.и.</u>	指標全体	効果は変わらない		用	費用が増加した		0		
1) 令和			ナる反省点、環境変化や関係者からの意見 が状態である。	見等を踏まえた検討課題、費用対	対効果は	可上のための	課題			
2) 上記	2反省点及び	グ課題を踏まえ	えた、令和6年度及び令和7年度の取組							
				取組説明						
			、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務心義の給討							

加入業種組合、関係機関増加のため、市内工業団地等に参加を呼びかける。

作成•更新日 令和6年8月5日

事業名 佐野市中小企業融資振興会運営事業 一般事業 市長公約 該当なし 総合戦略 実施計画事業or一般事業 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし

1. 基本情報

		部	産業文化ス	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	担当組織	課	産業政策課		佐野市中小企業融資振興	予算	款	7	新規or継続	継続事業
		係	産業政策係		会運営事業	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策		体系コード	111	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市中小企業及び小規模		開始年度	昭和41年度	実施方法	直営
	IXXK ITVIX	政策	1	企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり	企業振興条例施行規則 外	期間	終了年度	-	事業分類	審議会等運営事業
		施策	1	活力ある商業・鉱工業の振興	正来派天本////////////////////////////////////					

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

・佐野市中小企業融資振興会については、市は事務局として会の運営を行う。

・市産業文化スポーツ部長が会長、市議会経済文教常任委員長、栃木県信用保証協会、佐野商工会議所、佐野市あそ商工会、各金融機関の支店長が委 員となり、総会、融資事務担当者研修会、融資制度のPR、融資制度の見直し(金利・貸付条件等)などの協議を行う。

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	①市内の中小企業者の事業資金の借入を用意にし、事業資金調	融資実行を受けた中小企業者数	件		480	460	440	420
	達コストを減らす。							
よって成し 遂げたい	②市、佐野商工会議所、佐野市あそ商工会及び市内各金融機							
状態)	関の連携により、中小企業の支援を図る。							
,								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
(R5年度に 行った主な活動内容)		総会·融資事務会議開催回数		2	2	2
		融資制度のPR回数		2	2	2
	ビーノノ 1 17 「休祉心足、磁臭に因する怕吹、伽小朱信用休祉励					
	会には、	事業費計	千円	0	53	48
		一般財源	千円		53	48
		特定財源(国·県·他)	千円		0	0
		(うち受益者負担)	千円	·	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

	前年までは緊急景気対策資金(新型コロナ型)の利用が多く、利用	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
	実績全体の半分以上を占めていた。そのため、今年度の実績全体	融資実行を受けた中小企業者数	件	333	258	223	値が大きいほど良い	効果が下がった
効果説明	と比較すると効果が下がったように見受けられる。しかし、今年度は							
(定量及び 定性)	半数を占めていた緊急景気対策資金の利用が大幅に減少している							
ÆIL)	ため全体の利用実績は減少しているが、それ以外の資金の利用は							
	昨年度より増加した。							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	1指標
指標値増減)	指標全体	効果が下がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			0
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

原油高・物価高騰等により、市内中小企業者を取り巻く情勢は依然として厳しい状況にあることや、金融機関からは引き続き利用しやすい制度の見直しの要望があることを踏ま え、経済情勢に合わせて融資制度の見直しを行う必要がある。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

事業の在り方検討	(廃止 休止	再編成	受益者負担の目直に	など)

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

制度融資等の見直しを行い、利用促進を図る。

事業名 佐野商店連合会運営支援事業 実施計画事業or一般事業 一般事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該									I	
事業名	佐野商品	連合会連	宮支援事業	実施計画事業or一般事業					総合戦略	
. 基本情				施策横断的な取組との関連性	SDGS	該ヨなし	コンハクトンティ	該ヨなし	スマートシティ	該当なし
		産業文化スプ	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
3当組織	課	産業政策課		佐野市商店連合会運営支	予算	款	7	新規or継続	継続	事業
		産業政策係		援事業	科目	項	1			虫事業
	体系コード			根拠法令、条例等		目		義務or任意		り事業
	基本目標		魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり			開始年度	H14	実施方法		営
	政策		企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり	補助金交付要領	期間	終了年度	-	事業分類	支援	事業
	施策	1	活力ある商業・鉱工業の振興							
2. 事業 概 (1)事業		び(基本計	画期間内)目標値							
『業概要	の経営及び	技術向上、福	う会員の経営及び技術向上、地域の環境	どの販売促進事業、環境整備						
(2)目的	ካ			(3)目標値						
	=			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				会員事業所数/佐野地区商店数	%	3.8	3.9			
よって成し、			政的に支援することで、佐野市商店連合	会員事業所数/市内商店数	%			0.027	0.028	0.029
遂げたい 会の事業充実・運営の円滑化・会員数増加が図られる。										
状態)										
(1)活動	令和5年度は、1.280千円の補助金を交付し、支援を行った。		(2)活動を説明する数値デ 活動指標 補助金交付回数	ータ及び 単位 回	が事業費の R3 1	推移 R4 1	R5			
活動実績 (R 5年度に テった主な活 動内容)			事業費計	千円	1,280	1,000	1,280			
				一般財源	千円	1,280	1,000	1,280		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3) 注重	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	が値デー	クの推移	•	•	' ↓選択して	で下さい
(3 / /山玉	WCO OWY			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
₩₩₽₩₽₽				会員事業所数/佐野地区商店数	%	3.8	3.4	_	値が大きいほど良い	
効果説明 (定量及び	会員数はほ	ぼ横ばいで維	持している。	会員事業所数/市内商店数	%			0.027	値が大きいほど良い	効果は変わらない
定性)		, , , , , , , , , , , , , , , , , ,								
/-: -	= 1 141 ==					<u> </u>	<u>!</u>	<u>!</u>	L	
		見(自動判定		V 1 0 EIIV I 218 4 - LAWING				効果		Ī
費用(R5とR4の一般財源増減) 費用が増加した 効果が上がった指標数 0指標				※10万円以上の増減により判断			効果が上がった		効果が下がった	
※	効果は変わらない指標数 1指標			費	費用は下がった					
(RSCR40) 旨標値増減)	効果が下がった指標数 <u>0指標</u> 指標全体 効果は変わらない			+	用	費用の増減無し				
加的な支	援を継続す	る。								

取組説明

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

□ 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

仕事	の振り)返りシ	⁄-ト(令和5年度	実施分)			作	成・更新日	令和6	年8月8日
事業名	佐野地区	区労働組合	合議事業福祉厚生支援事業	実施計画事業or一般事業	— <u></u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情		1		T			1			
	部	産業文化スプ		予算中事業名		会計		事業計画	単年度	
担当組織	課	産業政策課		佐野地区労働組合		款	_	新規or継続	継続	
	係 産業政策係 体系コード 111 名称 は は カナス 产業 変形 りまごさ			会議事業福祉厚生支援事根拠法令、条例等	科目	<u>項</u> 目	1	市単独or国県補助 義務or任意	市単独任意的	
			魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野地区労働組合	事業	開始年度	_	実施方法	直	
四苯体系	基本目標 政策		施力の句性来 C 脈	会議事業福祉厚生費		終了年度		事業分類	支援	_
	施策		活力ある商業・鉱工業の振興	補助金交付要領	MID	於」牛皮	_	尹未刀叔	又报	尹未
(1)事第	美概要	労働条件の維持	画期間内)目標値 特改善、協同福利の増進、社会的地位の	向上の実現を目的として組織す	うる佐野!	地区労働組	目合会議を	支援すること	こにょり、労働	
(2)目的	<u> </u>			(3)目標値						
	_			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				福利厚生活動開催回数				2	2	2
(本事業によって成し			が勤労者の共同福利の増進など活動の							
遂げたい	充実、レクル	エーション活動	前の拡大を図る。							
状態)										
3. 削牛 接 (1)活重	力実績]対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ 活動指標 補助金の交付回数	データ及び 単位 回	ド事業費の R3	推移 R4 1	R5		
活動実績	(市の活動		助金の支出を行った。							
(R5年度に	71年11年12月27月	主力 励去に陥	<u> 切並の文田で11万</u> に。							
行った主な活動内容)	(佐野地区	区労働組合会	議の活動)	事業費計	千円	0	162	198		
231 3117	組合組織の)整備強化 勃	教育文化活動 福利厚生事業	一般財源	千円	0	162	198		
				特定財源(国・県・他)	千円	0	0	0		
				(うち受益者負担)	千円	0	0	0		
(3)活動	かによる効果	:		(4) 事業効果を説明する数	-		0	0	↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
効果説明	#= # \ \	~ ~ 1 00 /U ~ <i>* * *</i> 1		福利厚生活動開催回数		0	1	1	値が大きいほど良い	効果は変わらない
(定量及び			は、コロナ感染防止のため1件中止とな							
定性)	り、横ばいに	上笛まつに。								
/->		T // -::::				l	ļ	<u> </u>		
(5)費用対効果結果(自動判定)] 0 = min - 1				☆L PD		
				※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果	効果が下がった	
効果]	費	費用は下がった	が来が上がりた	かんはタリンはい	אואירוי. ו. וויאינויי	
(R5とR4の) 効果が下がった指標数 0指標			用	費用の増減無し		0				
	指標全体 効果は変わらない			J	, 13	費用が増加した				
	きに向けた検 0.5 年度の事		ける反劣占 環境変化や関係者からの音覧	3笑を吹まるた桧計理期 毒田:	対効型で	句 トのためん	の運用語			

_ ` =	, 13140	一人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	KACKIEL MANIER DANGER CERTIFICATION CONTROL OF THE CONTROL	
なし。				

	(2)	上記反省点及び課題を踏まえた、	令和6年度及び	令和7:	年度の取得	組
--	---	----	-----------------	---------	------	-------	---

	事業の在り方検討	(廃止、休止、	再編成、	受益者負担の見直しなど)
--	----------	---------	------	--------------

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

引き続き財政支援をする。